荒木飛呂彦

『グッとくる映像』には、まだ続きがありまして、刑事が犯人を追跡する映像では『雨が降ってる』とすごく良いですねェ……。どんなとこがいいのかって言うとその理由がさっぱり言葉では説明できないところが、『グッとくる映像』なんですねェ。刑事には雨です。それともうひとつ。『男がひとり馬に乗って荒野を行く』って映像を子供の時、初めて見た時は誰かが、すでに教えてくれたのか、『カッコイイ』というのは、こーゆう事なのだと本能的というか、すでに知っていたような気がしてならない。

●週刊少年ジャンプ・H10年17号〜26号掲載分収録

LOVE

J-C

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険 59

今にも落ちて来そうな空の下での巻

荒木飛呂彦

ジョジョの奇妙な冒険 59

荒木飛呂彦

集英社

9784088725888

1929979003906

ISBN4-08-872588-3

C9979 ¥390E

定価410円

本体390円

雑誌 43000－88

ジャンプ・コミックス

恐るべき二重人格者、ドッピオのもうひとつの顔は組織のボスだった！ 美しき島、サルディニアを舞台に暗殺者、リゾットとドッピオが激突する…!! そして島に上陸したジョルノたちに新たな危機が迫り来る!!

JUMP COMICS

ジョジョの奇妙な冒険

第59巻

今にも落ちて来そうな空の下での巻

荒木飛呂彦

ジョースター家のルーツ
1880
ダリオ・ブランドー
殺害
殺害
ジョージ・ジョースターI世
（英国貴族領主）
メアリー
エリナ
ジョナサン
（波紋を修業）
（考古学者）
1900
ディオ
殺害
間接的に殺害
(1889)
ジョージ・II世
（波紋力なし）
（空軍パイロット）
1920
リサリサ
（エリザベス）
（波紋を修業）
1940
ジョセフ
（ニューヨークの不動産王）
（波紋を修業）
スージーQ
（イタリア人）
空条貞夫
（日本人・ミュージシャン）
ホリィ
空条　承太郎
1970
（老後のジョセフ）
波紋の修業はないが
自らのスタンドをもつ
スタンド：『星の白金』
日本人女性
(1989)
（ディオ　承太郎によって倒される。
1990
（日本人・教師）
東方朋子
東方仗助
スタンド：『クレイジー・ダイヤモンド』
ジョルノ・ジョバァーナ
スタンド：『ゴールド・エクスペリエンス』
2000

トリッシュ・ウナ（15歳）
スタンド：『スパイス・ガール』

ブチャラティ（20歳）
スタンド：『スティッキィ・フィンガーズ』

ジョルノ・ジョバァーナ（15歳）

ミスタ（18歳）
スタンド：『セックス・ピストルズ』

ナランチャ（17歳）
スタンド：『エアロスミス』

アバッキオ（20歳）
スタンド：『ムーディー・ブルース』

前巻までのあらすじ

これは一世紀以上にわたるディオとジョースター家の因縁の物語である…。

現代の日本――。ジョセフ・ジョースターの孫、空条承太郎はスタンドと呼ばれる超能力を持っていた。その影響で倒れた母を救い、元凶であるディオを倒すため、承太郎たちはエジプトに向かい、死闘の末、ディオを倒した。

＊　＊　＊

一九九九年の日本。地方都市、S市杜王町では「弓と矢」によって、スタンド使いが増やされていた!! 東方仗助たちは、正義の心で、殺人鬼、吉良吉影を追いつめ、これを倒した…。

＊　＊　＊

二〇〇一年のイタリア。ディオの息子、ジョルノはギャング団に入団。ブチャラティたちとともにボスの娘を守る任につく。娘の抹殺を企むボスに反旗を翻したブチャラティたちはボスの正体を求め、サルディニア島に上陸する。しかしボスもまた島に上陸していた…。

ジョジョの奇妙な冒険

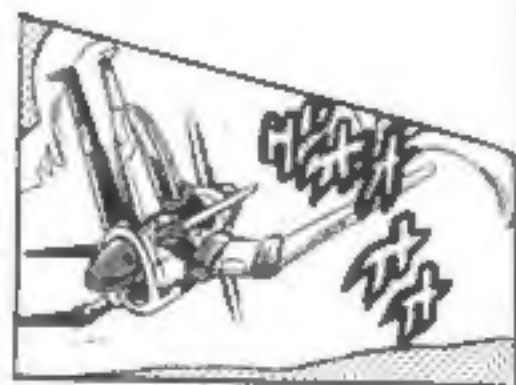
GioGio 第59巻

今にも落ちて来そうな空の下での巻

もくじ

来る！
ヤツはあそこをゆっくり移動して…
こっちに来るぞ
ドドドドドドドド
キング・クリムゾン V.S. メタリカ その②
ジョジョの奇妙な冒険

ドドド
ドドド
ドド
キング・クリムゾン
V.S.メタリカ
アアアア
その②

ち…
近づいて来るって事は…
ボス
遠隔操作のスタンドじゃあねえって事は確かだ…
オ…オレの喉に…これからハサミを入れられるっていうこの画面は…

数秒後に
実際に起こる
「動き」だと…!?
ドドド
ドド
もう変えようがない
でき事なのですか!?
ボスッ!?
『「そうだ」!!』
『その画面を
見たからには
覚悟を決めなければ
ならん…』
「これから
おまえの喉にハサミが
うめこまれるのは確かだ
…だが見きわめろ!」
うぎっ
あぐぁ……ぐぁ
「これから
起こるヤツの
攻撃方法
を!!」
「しっかりと
見きわめれば
弱点がわかるッ」
ドァァァァァ
「そしてヤツの2メートル
以内に近づいて!」
『「キング・クリムゾン」の
腕でたたくのだッ!
ドッピオ!』

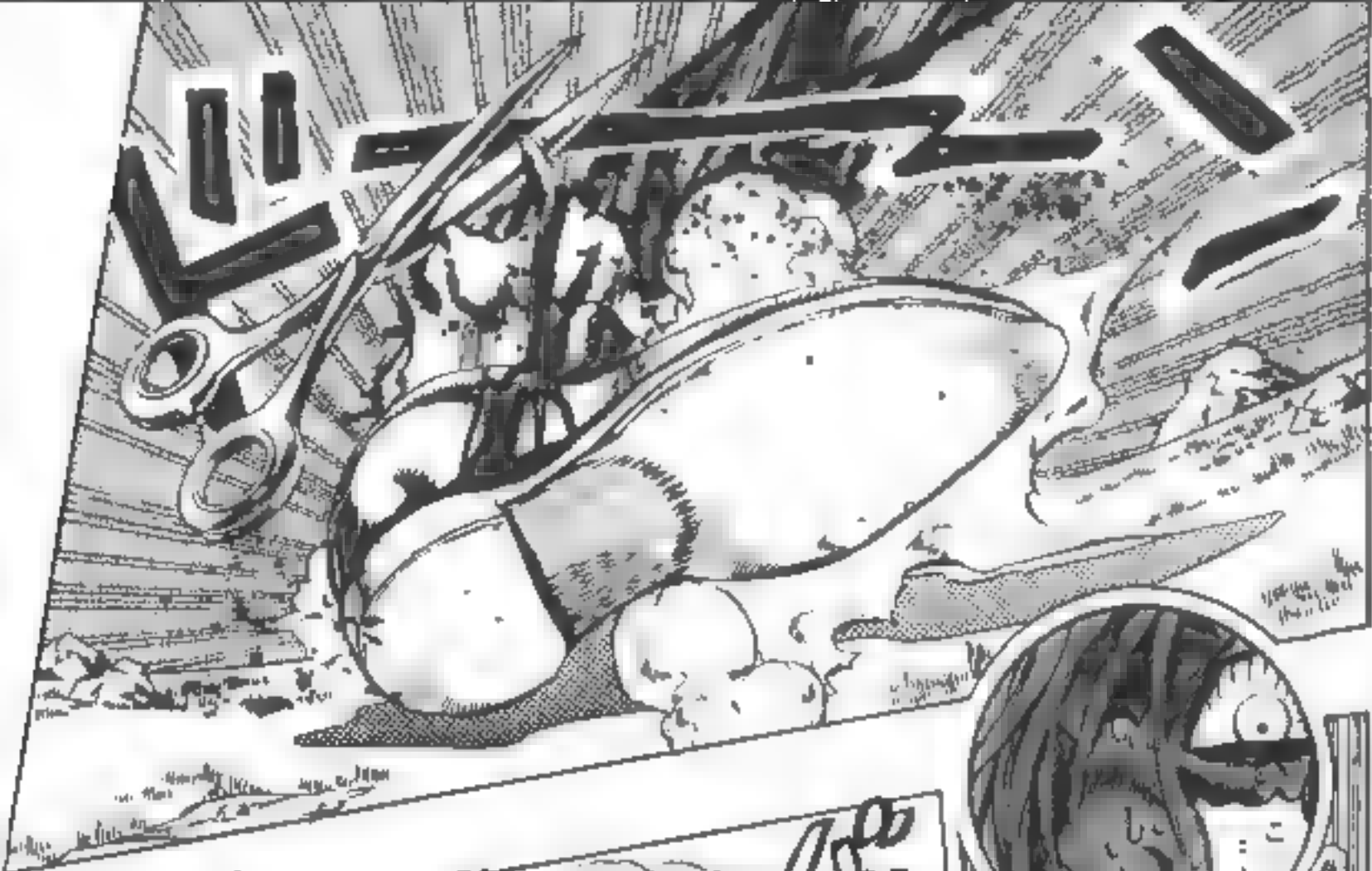
ち……
チクショオオオオオ
大ざっぱ……
とはいえ……
ドガッ
そこだッ！
くらえッ！
ゴッ！

このオレの位置に
こんな近くまで
突っ込んで来たのは
…………
これまでの
暗殺の経験で……
おまえが
初めてだ
……
興味が
湧く
なぜ
わかったのか
?
おまえの
能力への
興味はな…
……とは
いえ…
……
……
あ
死んで
もらうッ!

うおお
ぎぃ
あああぁぁ
くっ
ば…バカなッ!!
オ…オレは今絶対指1本触れられてはいねーし口も開けてねえ!!
どうやったんだ!?なぜオレの首の皮の下に
しかもハサミがひとりでに開いていく
おかしい…スタンドで触れられてもいねーのにハサミが動くのがおかしい
ドドドド

ドズッ!!
とり出さなくては…
ヤフゥアアアアアアア
ガリッ

「今の動作」
喉をカッ切れると思ったの―
まるでハサミを入れられるのを知ってたかのように今…喉に手をやって防御した
何かあるな……
気をつけよう………
次で確実にやるためにな
ちくしょおてめああああああああああああ

な…

ドーーーーン
こ…
これは…!?
パパパ
「どうした？ドッピオ？」
「ヤツの攻撃は見る事ができたのか!?」
ゴゴゴゴ
ボ…
ボス……!
「見る事はできなかったのか………」
「ヤツの位置をあきらかにするのだ…」
「ならばすぐそこを移動しろ……!! 移動してヤツを追わせる事によって」
ヤ…野郎…!! オレは覚悟を決めました…

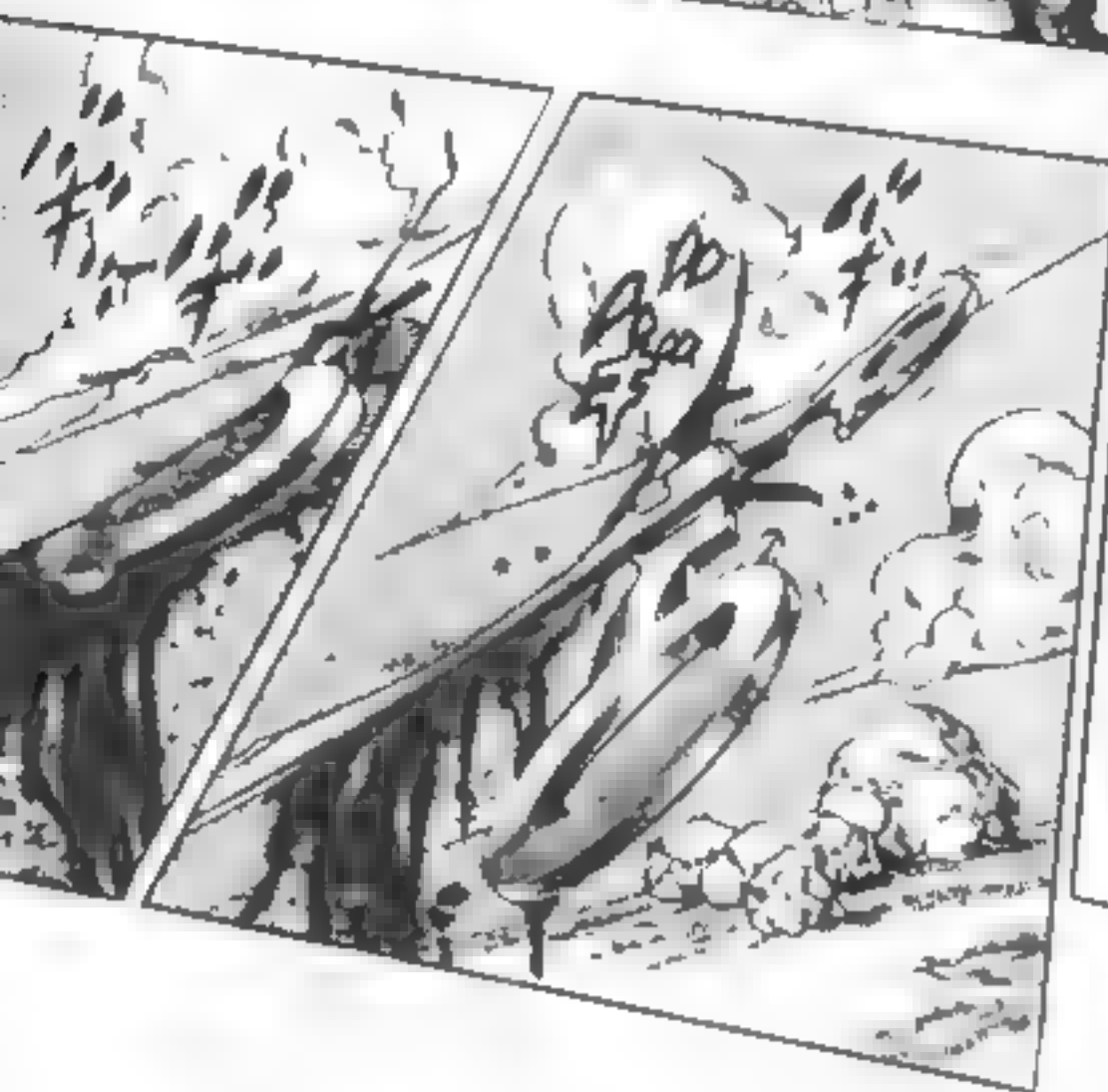
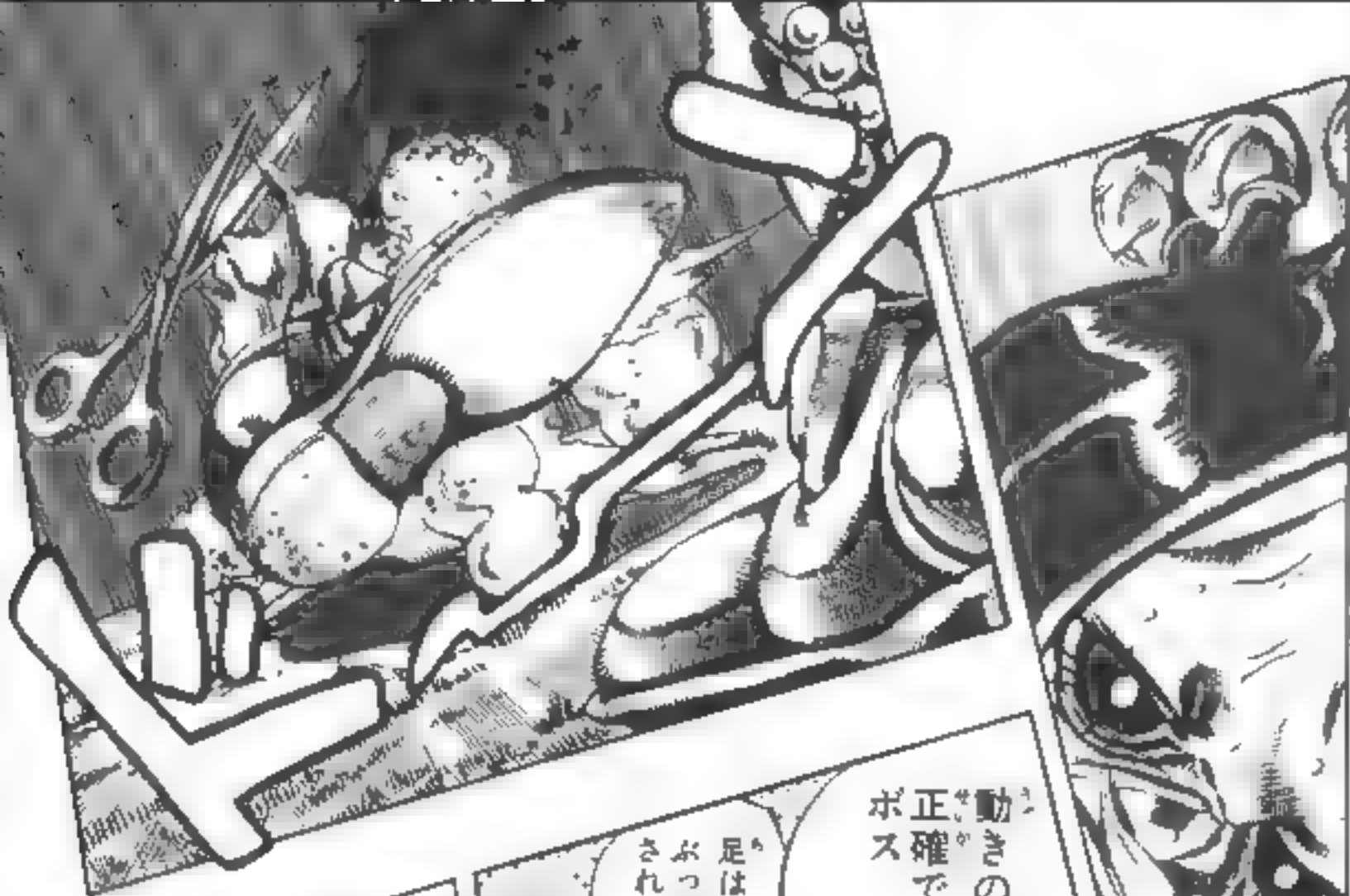
次は必ず見きわめてやります……
ちくしょう……
必ずヤツの2メートル以内に入ってやる……
「………」
ハア
ハア
ハア ハア
ハア ハア
「おまえ今「キング・クリムゾン」の「次の」画面を見たな？」
「何を見た？」
ハア ハア ハア ハア
「聞いてるのだぞ!! ドッピオ！何を見た！」
右足だ……
ボス……
これから実際に起こる動きというなら……
数秒後またハサミだ…
吹っ飛んでいる……
まちがいなくこれから足が吹っ飛ばされる…
ドドドド
ゴゴゴ

ドドドド
ドド
ハァ ハァ ハァ ハァ ハァ
ドドドド
く…
来るッ！
「何だと〜ドッピオ！」

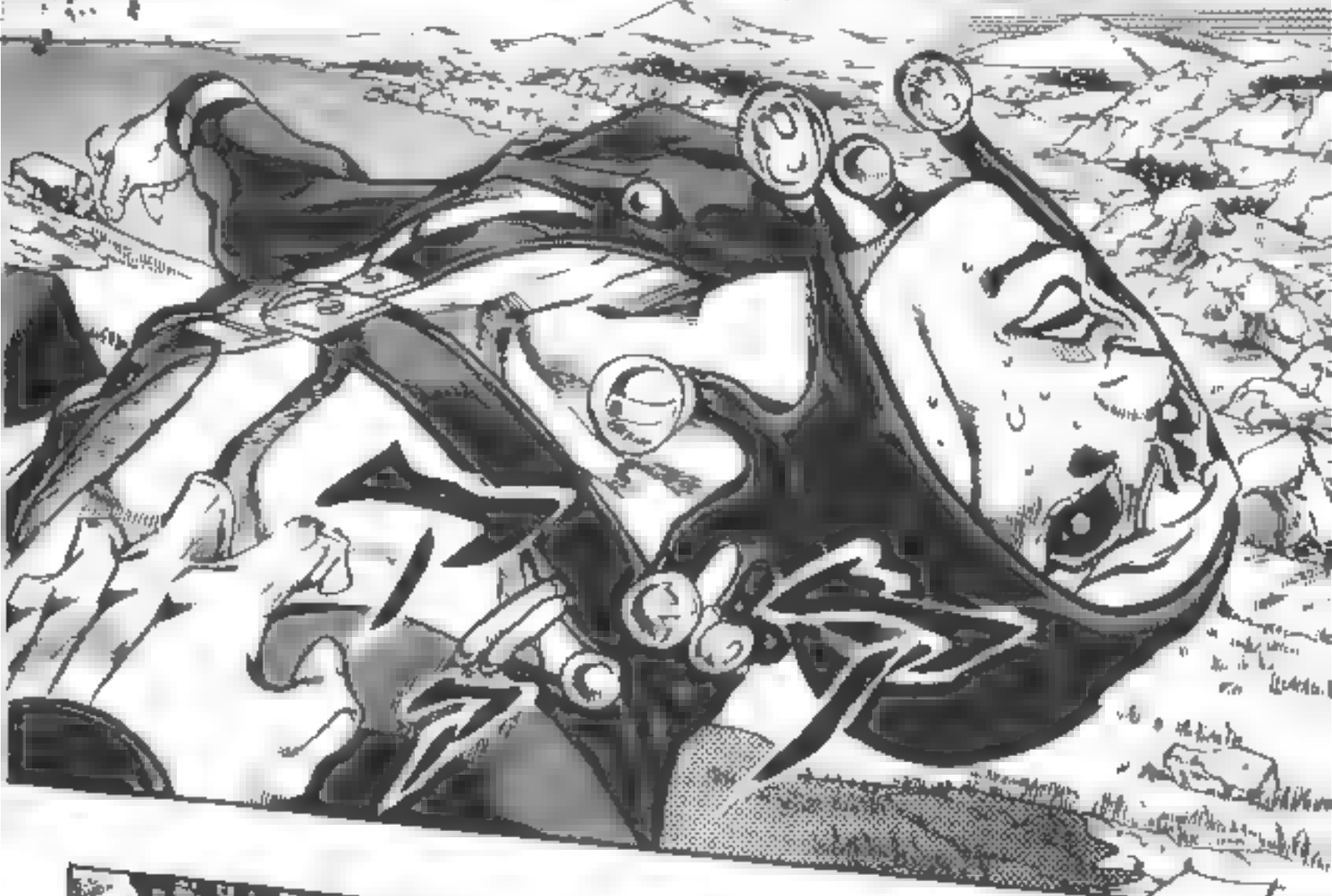
今…チラリと見えた
「……」
「すぐにそこを移動しろ!!
画面を見ておきながらドッピオ!!」
「なぜすぐに移動しないッ!」
リゾット・ネエロ…「暗殺者」!
用心深くふるまっておきながら キッチリと殺しの準備は整え済ましている
まずいぞ…ドッピオではもう勝てない
これから私が「出ていく」にしても10秒以上はかかる
ハァ ハァ
すでに足に力が入らないんです 走れるかどうか……
「カミソリ」「針」「ハサミ」この体力の消耗のためにヤツは準備していたんだ
「いいからその場をはなれろと言っているんだ!! もろにやられるぞ!!」

しかし
ボス……
お言葉ですが
……
だから
動かない方が
いいんですよ
……
体力を消耗している
……
だから
動かない方が
わかりやすい！
ヤツの能力は!!

「どこからハサミやカミソリで攻撃してくるのか」とばかり考えていたが
それは違う！
この「カエル」とオレの体力の消耗が答えだ！「作」っているんだッ！

生き物は体内に
鉄分という
栄養素を
持っているからなノ！
おまえのスタンド能力で…
鉄のカミソリを
『体内で作って』
いるんだッ！
ドバ
カエルを
置いた！
オレの体より先に
カエルにカミソリが
出て来たってことは

近づいて来たのはカエルのその先の方からだ……
ドドド

こ…
こいつ…!!
動きの予想は正確ですね…ボス
足はぶっ飛ばされた
そして謎に包まれた暗殺者の全ぼうが少しずつ見えて来ましたね… ボス
ボス
あれ?
おかしいなたしか、公衆電話を
手持ってたはずだけどな
どこ落とした?
あれはカエルだし

あった〃
何て
こんなトコに
落としちまったん
だよ～～
岩の下敷きに
なっちまってるよ
砂まみれだし…
なんてこった！
すぐに報告
しなくちゃあ
ならねーのに
ぶっ…
ブッ壊れちまった
か…!?
おッ！
おおお…！やった！
最近の機械は
小型軽量のわりには
頑丈に出来てたぜ
助かった！
もしもし
キング・クリムゾン
V.S.メタリカ
その③

キング・クリムゾン
V.S.メタリカ
その③
ぐっ
うあ
あっ
あっ
バカなッ
!

『だが……』
『リゾット・ネエロの始末は…確実にやっておきたい……』
ボス 褒めてください
これでもうヤツは動けない…!
ヤツをやるのはこのオレですか？それともボスがここに来るまで待ちますか!?
『でかしたドッピオ…わたしのドッピオよ……』
『やるのはわたしだ 近づけッ! ドッピオ ヤツから2メートルのところでッ!』

わたしがそこに行くッ！
近づくぜ！ボスッ！

おまえ「予知のような能力」を持っているな
あらかじめ何か起こるのかオレの「動き」を知っていた
でなければオレの位置と攻撃方法が見抜けるわけがない…
ロオオオオオーーード

こ…これは…切断面の傷の中に…
蠢いている
たしかに最初はひとりでは何もできない小心者だった…
だが今のおまえは何者だ…
すでに性格が「自信」に満ちあふれた者になっている
その顔つきも何だ？すでに少年の「目」ではない「2人」いるかのようだ
ひょっとしてオレは自分が気づいている以上に!!
オレが求めるべきものに！
近づけているのかッ！
知りたいぞおまえが何なのかおまえの真の姿を
息の根を止める時に何としても知りたいッ！
リゾットのスタンドはヤツの『体内』にいるッ！

ドス
ドス
ドスドスッ
ドスッ

ブッた切ってやった足が
リゾット・ネエロ
完全に能力が見えた……!!
……「磁力」だな!!
その距離からスタンドの「磁力のような能力」で操作している!
体内には「鉄分」がある
磁力のような力で鉄分を操作し
そしてオレの体内からカミソリやハサミを作ってはき出させたんだ
おまえが姿を消すのもたぶんスタンドが「磁力」を使っている!
磁力でこまかい鉄の粉を体の表面に付着させ!
体にまわりの景色を描くんだッ!
保護色のように!
そしてまわりの景色と同化しているんだ
「当たり」だ……
だが
我が「メタリカ」の正体を知ったところで
もう遅いんだぞ
すでにおまえはな……

…出来あがっているのだからな！

「鉄分」当たりだよ
そしてそれはこの地球上でどこにでもあるものだ
砂の中にはもちろんあるし
海水の中にもある
植物の中にもある
地表に出る金属の中では最も多い金属なのだ

ぐっ
「何をしているのだドッピオッ！
画面でヤツの攻撃を予想しておきながら」
「もうそれ以上
自分の体にダメージを
受けることは
ゆるさんぞ…」
うぐあ
ハァーハァー
ボスッ ボスッ
おまえに能力を
見破られて、
わたしは足を
切断された
だがすでに
おまえは「出来あがって」いる
のだ
それはもう
何をやっても
変わりのない
ことだ
「鉄」とは
ホウレン草のような
野菜やレバー肉などに
多く含まれる
栄養だが
血液と密着している
重要な物質

その「鉄分」が体内から一気に外に出ちまったらどうなるのか？

カミソリや針やハサミになってな

簡単にいうと…血がおぞましい黄色になって死ぬ…

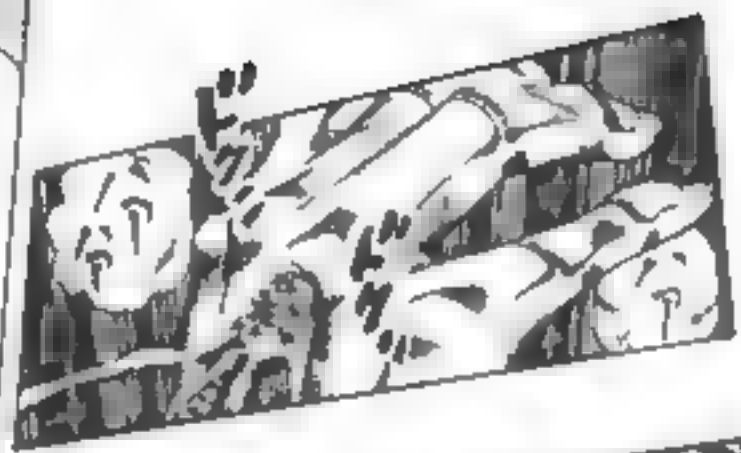
「鉄」というのは血液の中で呼吸で入って来た酸素をつかまえて体のスミズミまで運ぶ役目を負っている それで人間は生きている

血が赤いのは鉄の色なのだ

それがなくなるっていうことは…指先だとか…脳ミソだとかに大切な酸素がまったく行かなくなるということだ…

つまりすでに「鉄分」を大量に体内から奪われた者は息が荒くとも…

酸素がまったく体内にとり込まれていないのだ〃

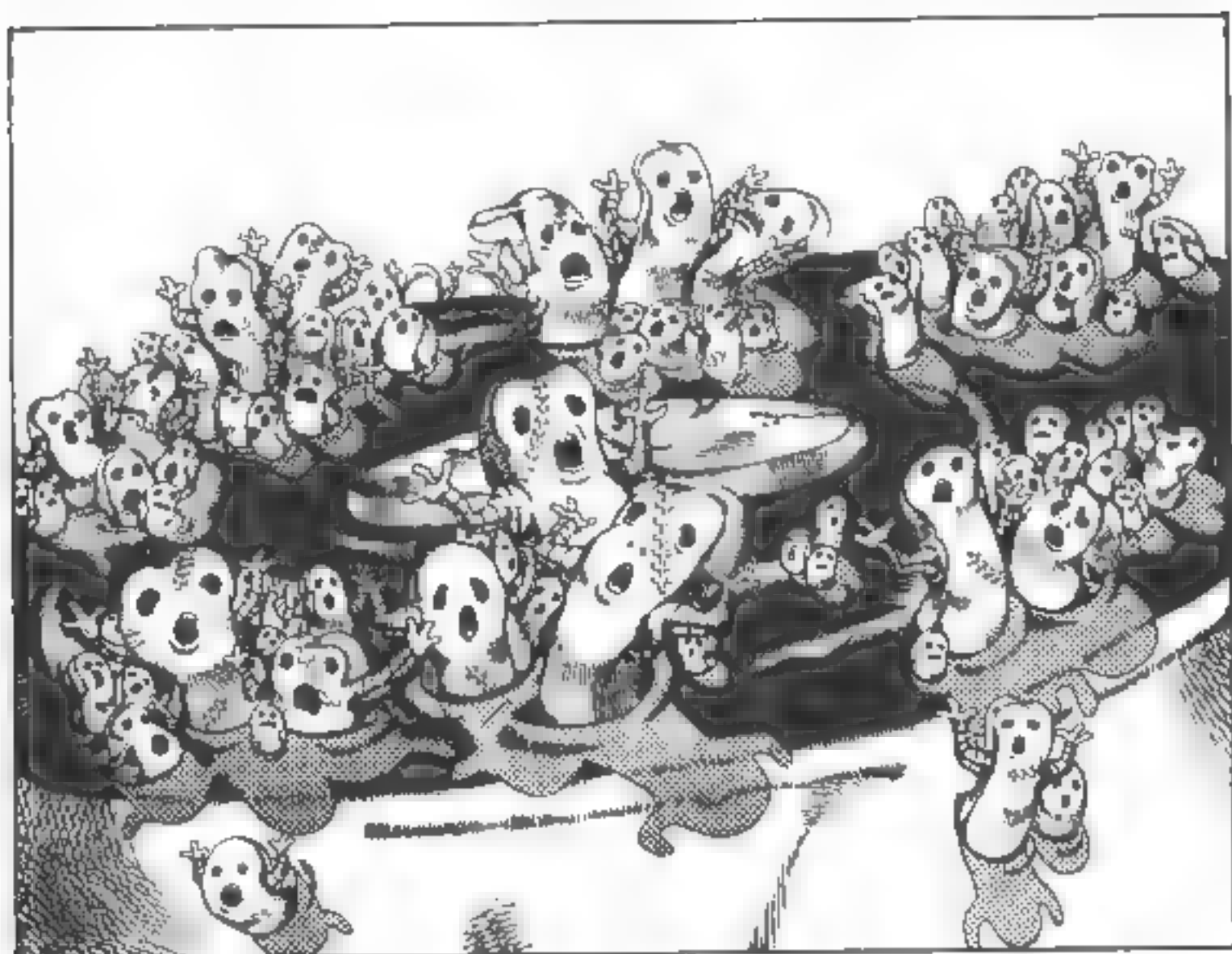
死ぬ前に体は「死人」になって死ぬ

ハアー
ハアー
さてと…これから
オレは
とっち‐すべき
かな
おまえが
このまま
へハるのを
待つか
それとも
あそこを見ると
すでに時間切れのよう
だから…あと「メタリカ」を
一撃！ とどめを刺しに
行くか…？
ハアー
ハアー
トリッシュは
いっしょには
いないようだ
とこかでまだ
用心している
の中か
ハアー
ハアー
…ボス

ドド
ド
ドドド
ドドド
ドド
……
あれは……″

ドドドド
ボス！あれはッ!!
ナランチャの他にいるのはたしか″
ついに──姿を現した
盤のそばにブチャラティだ！″
それとアバッキオもいるッ！
ドドド

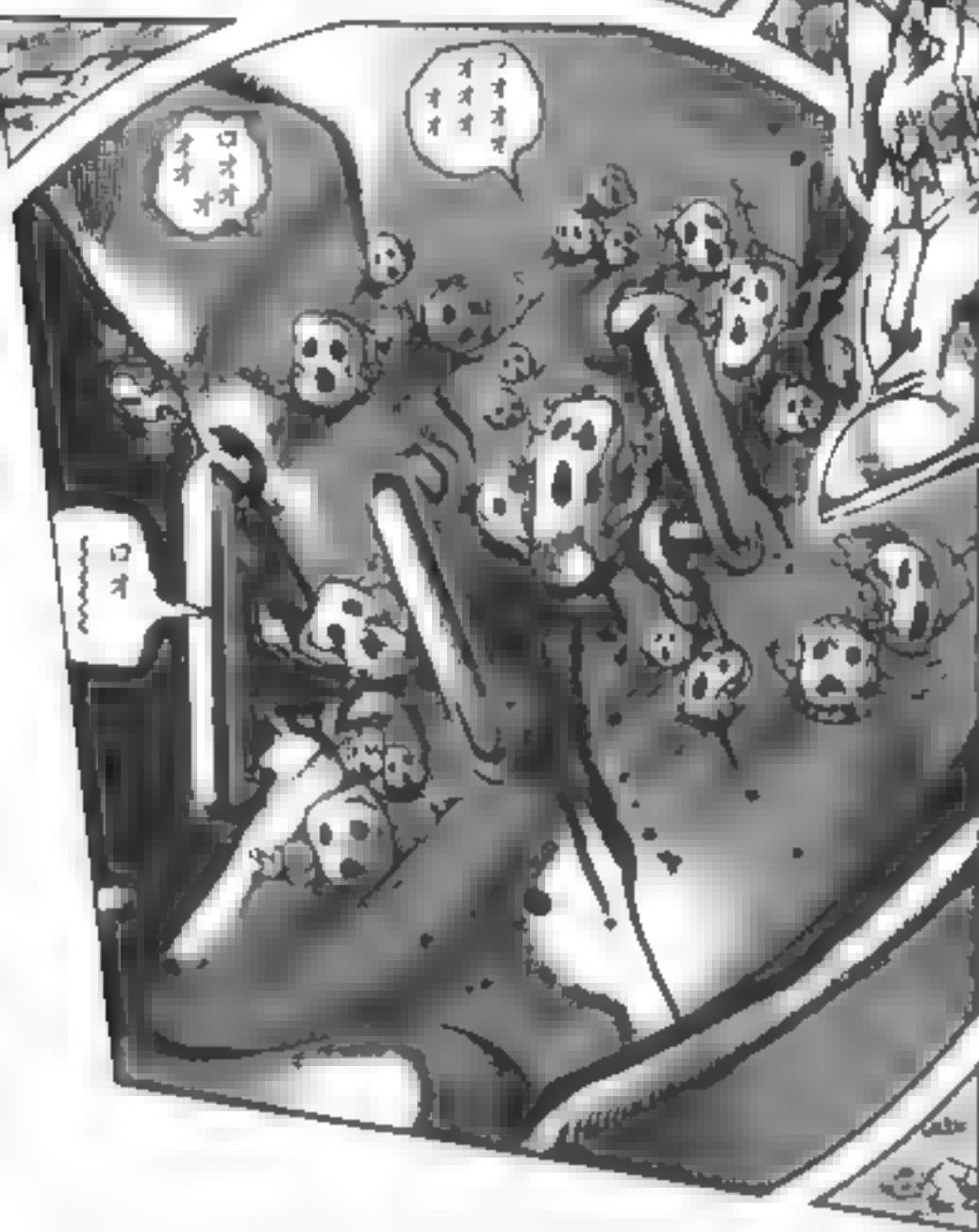
「…………」
「何だと…ドッピオ」
「アバッキオが…………」
「いるのか？」
「…………」
ドドドド
「当然15年前の写真の場所に気づくとは思ったが……」
「もう時間切れだ…」
「ドッピオ……」
「どっちみちやるしかないがな……」
「今度の攻撃で終わらせる」
「今度のヤツの動きを」

「画面で予想しろッ！ドッピオ！」
「リゾットはこれからどう動くのか!!」
すでにボス見てますッ！
リゾットはオレに対しとどめを刺す方に
決断するようです…右側から回り込むように向かってくる
そして消えるぞ…!!見えなくなるッ！

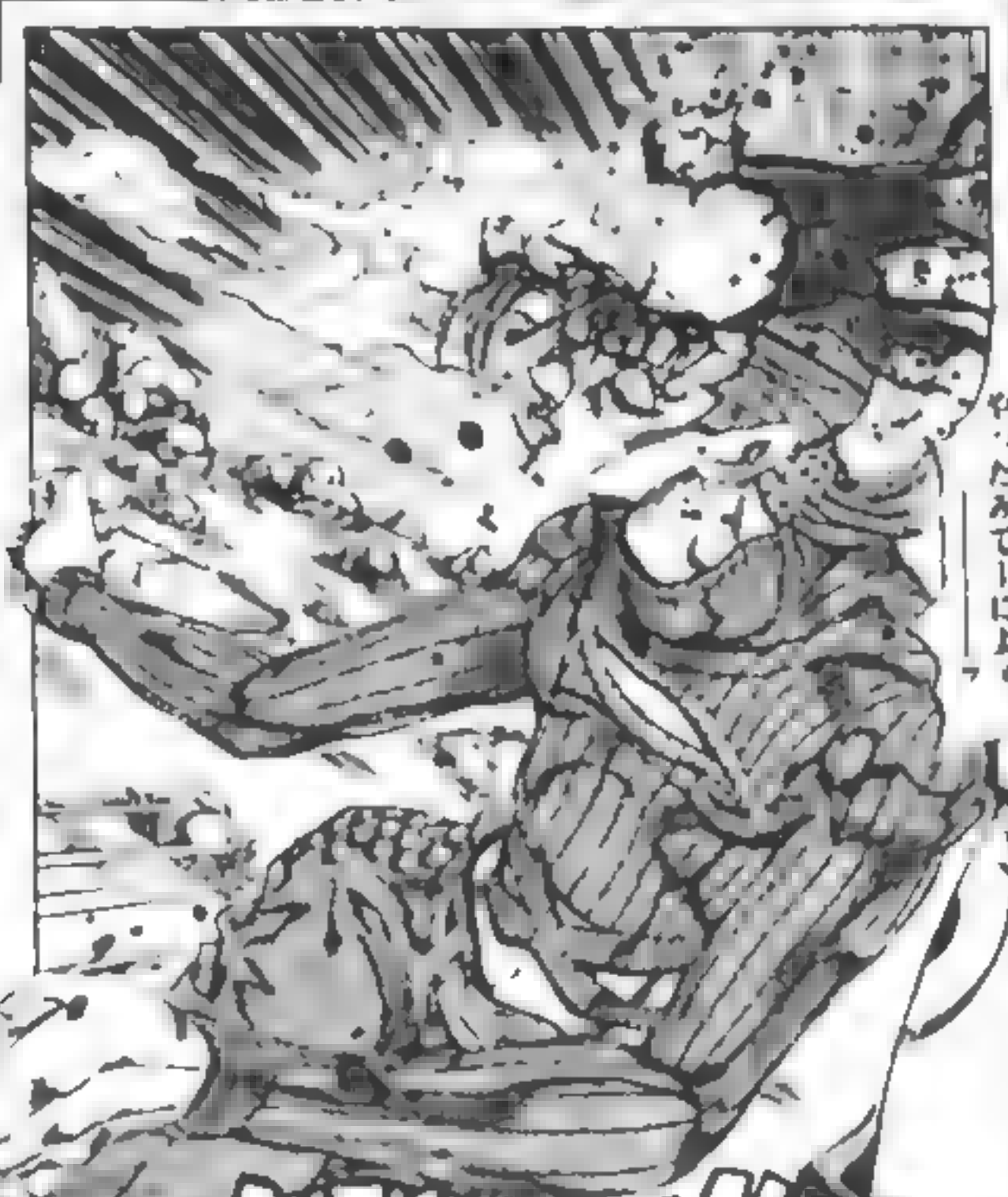
何か…見えるの!!

スタンド名—「メタリカ」 本体—リゾット・ネエロ		
破壊力—C	スピード—C	射程距離—5〜10m
持続力—A	精密動作性—C	成長性—C

能力—①リゾットの体内に潜む極小の群れのスタンド能力で、射程内に近づいた人間や動植物から体内の要素である鉄分を体外にはき出させる能力がある。体から鉄分を失った人間は死ぬ。
②鉄は磁力で吸い付けられるので、その力を利用できる。
③メタリカ自身は、まわりの背景を保護色として姿を消してしまうことができ、暗殺に適している。

A—超スゴイ　B—スゴイ　C—人間並　D—ニガテ　E—超ニガテ

キング・クリムゾン V.S.メタリカ

スタンド名「メタリカ」

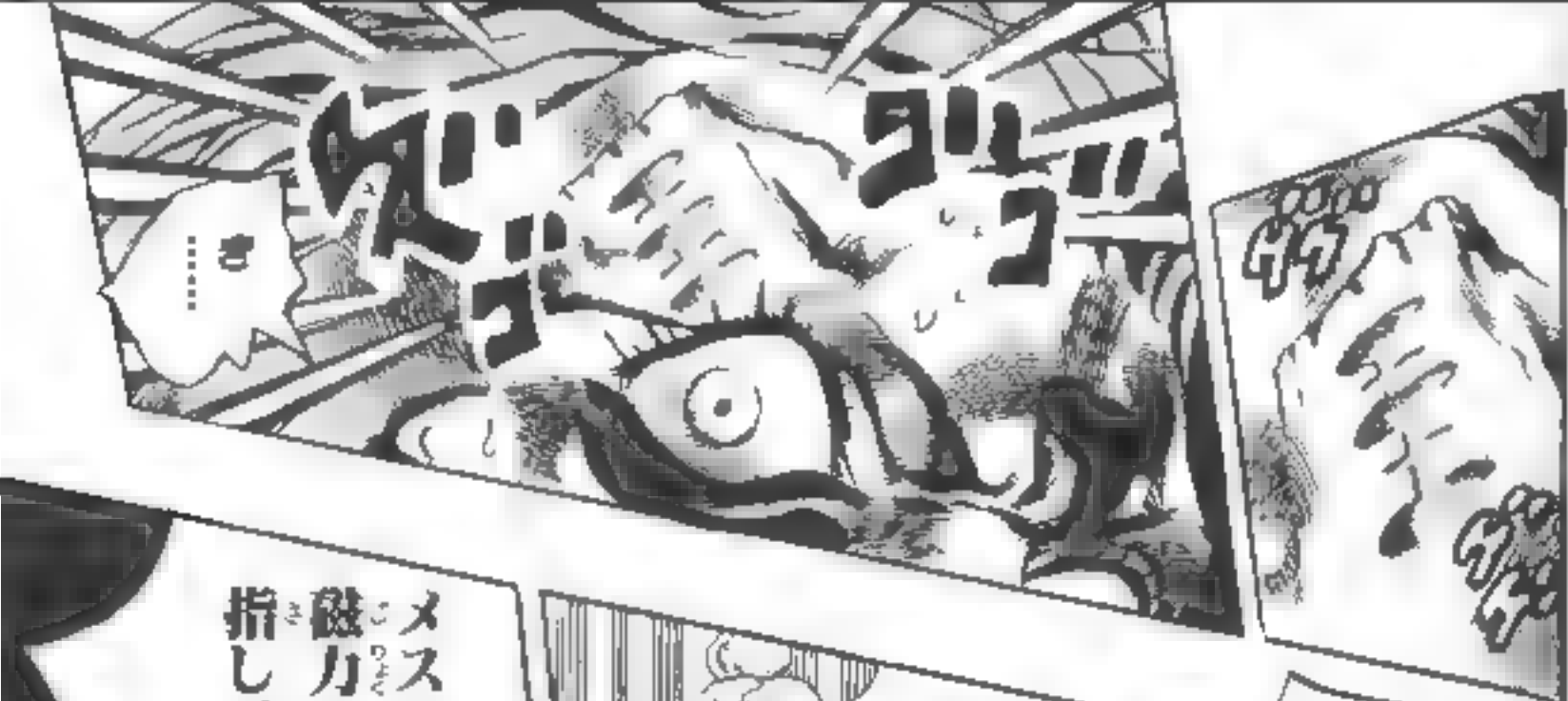
①本体名 リゾット・ネエロの体内にいるスタンド
②射程5〜10メートル内の鉄分を操作する
③鉄分を身にまとい背景に溶けこませ風景と同一化する
④相手の体内の鉄分を操作しカミソリや、ハサミなどに作り変えて切断 体外に出す
⑤鉄分を失った相手は酸素不足で死に至る

その④

ギ……
逆にやってやるぜ…ボス
数秒後この両面が・・・・起こる前に………
逆にヤツの顔をえぐり飛ばしてやるぜッ！さっきヤツをブッた切ってやったみてーによォ――ッ
ドドドドド

き…来たッ！
消えるぞッ！
右側からまわり込んでくるッ！
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ

「それ以上
何もするな
ドッピオオッ!」
「もうおまえは
何をやっても
無駄なのだ!」
ブワァァァ
「よく聞け ドッピオオッ
肝心なところだ!!」

「体力を消耗するな
わたしはすでに
今そこに
向かっている！」
「あと
数秒かかるが
わたしがリゾットの
相手をするッ！」
「わたしの
完全なる能力がそこに行けば
おまえが見た画面の
「時間を消し飛ばす」
ことができる」
……
数秒ですって
もう
間に合わないッ！
「それしか　おまえが
助かる道はない…
おまえの肉体はすでに
限界だ……
わたしのためにもそれ以上
消耗するのはゆるさない！」
今にもヤツは
攻撃してくるッ!!
殺られるのは
このオレだッ！
だからオレが
殺る！
「それしかないのだッ！
こちらえて待てッ！
ドッピオッ！」
「それに殺るだと!?
おまえに2度も
位置を見つけられる
相手ではない！」

「探せる」……
としたら？
ボス？
ヤツの「位置」が
わかるとしたら？
ユラ…
ユラユラ…
ヤツの能力が
オレの体から「鉄分」を
体外に奪おうっていうのなら！

……き
来た！
攻撃だッ！
引っぱる力が
あるはずだッ！
オレの体から
鉄を引っぱる力があるはずだッ！
メスは
磁力の方向を
指し示したッ！

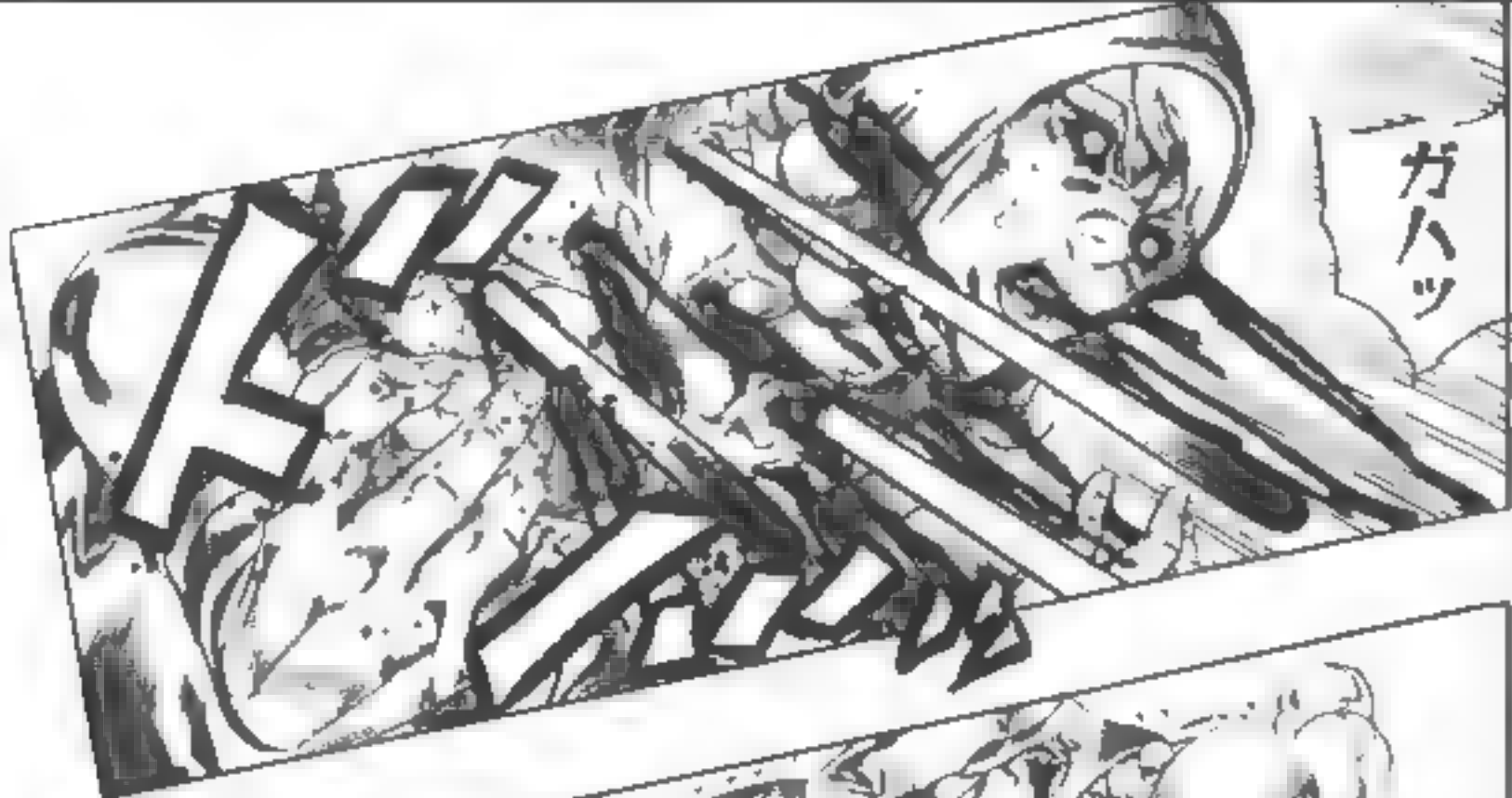
そこだ
リゾットオオ
オオオオオ
オオオオ

それを
やると思ったよ

オレの「メタリカ」の能力を見破って得意顔になったおまえならな…
やると思ったよ
だがな…
ハァ ハァ ハァ ハァ
残念だったな…
おまえが探知したのはおまえにぶった切られた足の中の「メタリカ」の磁力だ
ハァ ハァ ハァ ハァ ハァ
さっき おまえに右足を切断された失敗は…
反省して その事を前向きに利用しなくてはな…
「磁力」は鉄をひっぱる
その力の方向を探知すればオレが見つかるって考えたわけだ…
そこに置いといたんだよ
グルン！

うっ
うああ あ
ああっ
うおおあああああああああああああああ
そして おまえ・・・
おまえが 何者か・・・
わかった ような・・・ 気がする・・・
その体つき・・・ 今さっきまでと 違う その顔も
そうだ ガッシリと年齢をとって しくように見える

うあああああああああああ
ギリ ギリ
ギリ ギリ
そうたしか
医学的に古い資料では
十六世紀のドイツでは
すでに診断・確認されていたという・
この世には
複数の人格を
持つ人間がいて
……
それは精神だけではなくて
肉体 筋力も
別人となり 言葉すら
別の言語になる事も
あるという……
うおおおお
オレはおまえが
ボスから最も
信頼されている
側近の部下だと
ばかり思っていたッ!
だが おまえが
……!!
まさか おまえがッ!

おおおお‼
楽しみだぞッ！
おまえがこのまま死んだ後！
どんな顔になって
死ぬかが楽しみだッ！
勝ッた‼
頭を切り飛ばすッ！

とどめだ
くらえ
『メタリカ』ッ！

ガハッ
……え……?
……
え!
……な

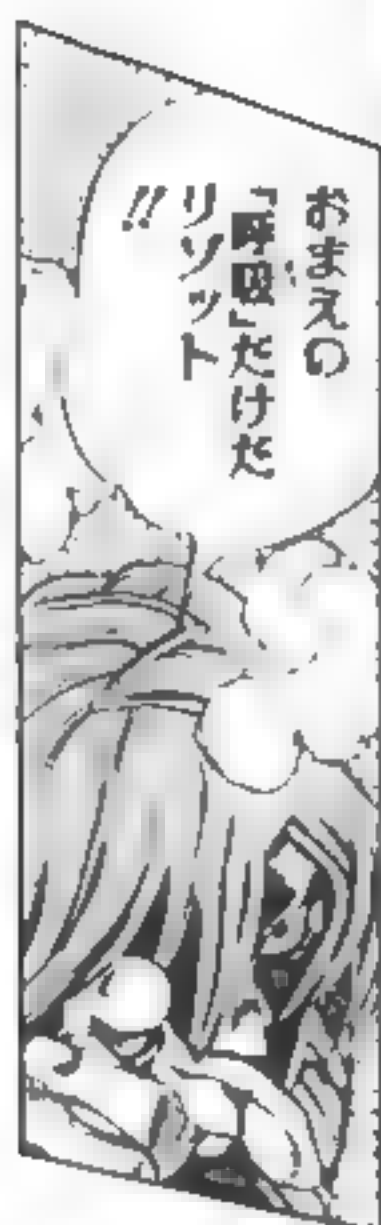
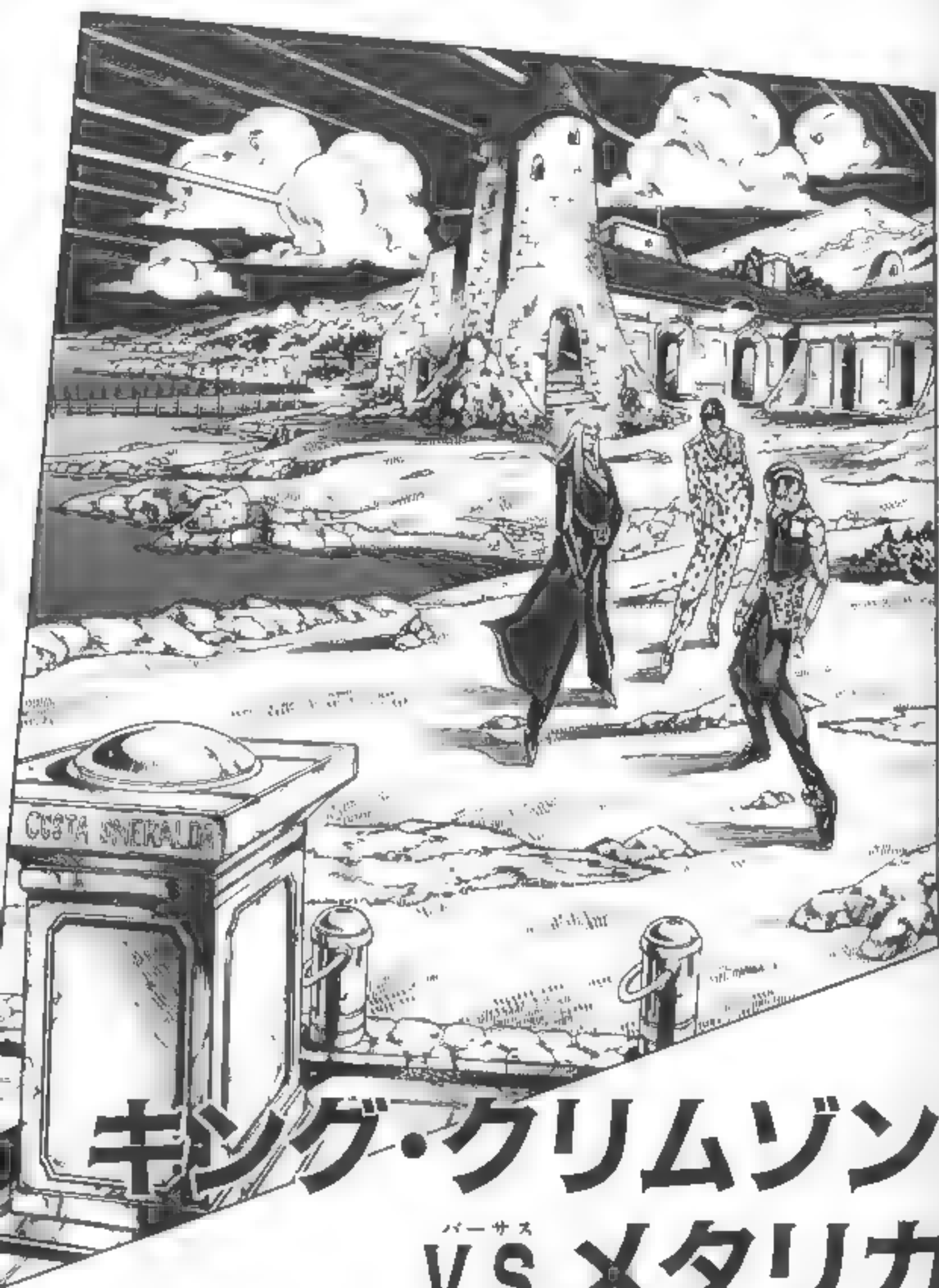
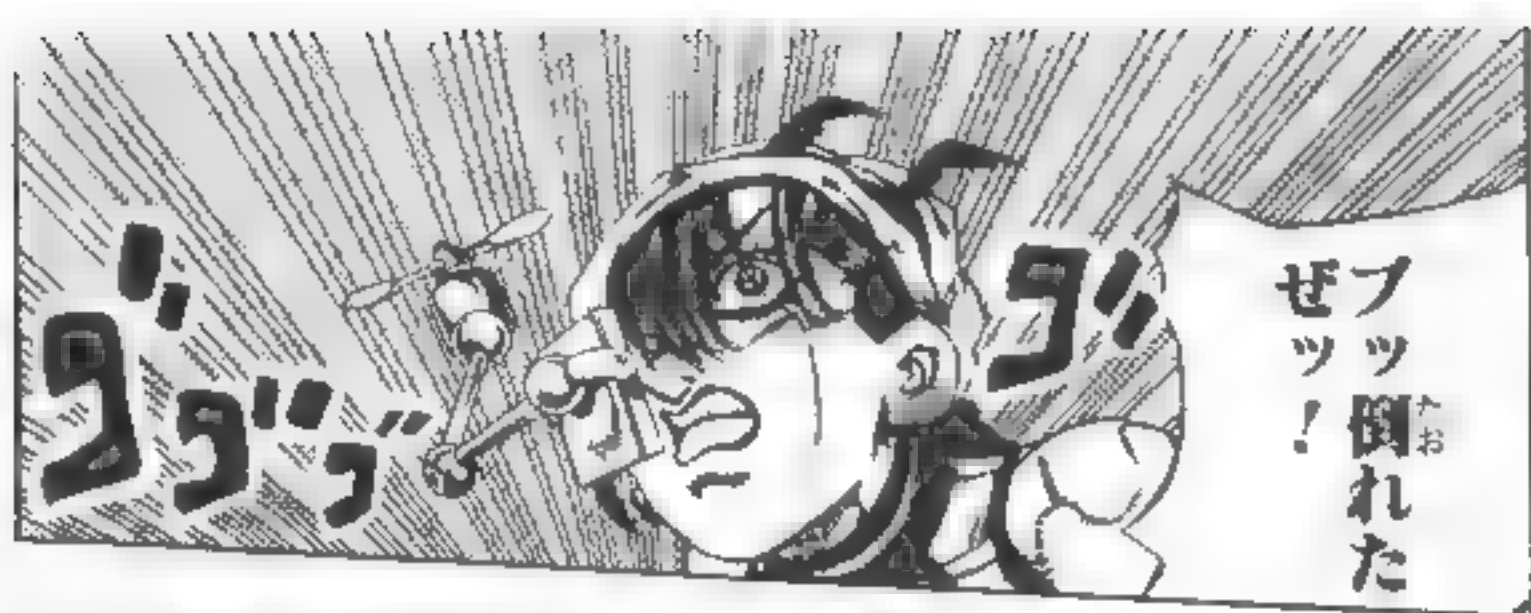
何…
だってッ？
リゾット
わたしは
ドッピオに言ったんだ
「おまえにはもう手に負える相手ではない」ってな…
だが「エアロスミス」ならおまえを探知できる
おまえの「呼吸」をな…
もっとも…これはわたしたちがおまえに追いつめられたからした事だ……
わたしがここに来る事もヤツらにあえて知らせる事もそれだけはしたくなかった…
「敵」は…!!

すでに来ていたのか
やはり
しかしブチ込んでやったぜッ!!手ごたえはあったッ!
そのメスを投げた野郎はまだ動いていないブチャラティ
敵は何人だナランチャ!?
ひとりです
崖の上に居る「呼吸」はひとりだけです

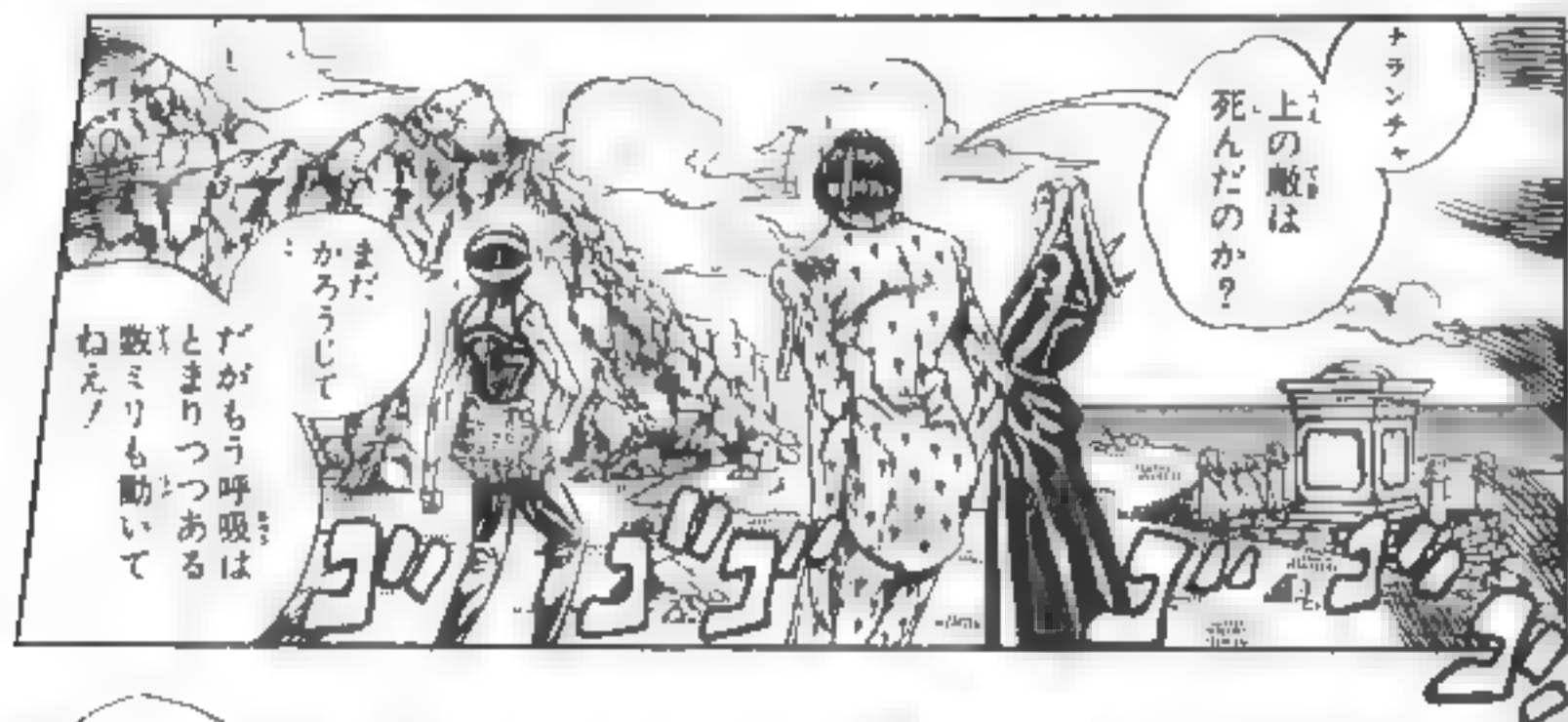
鉄分を抜かれたわたしの血液が酸素を体中に運ばないというのなら
ハァ
ハァ
わたしの肉体は「呼吸」していないという事と同じじゃあないか?
もしくは
「エアロスミス」が感知しているのは!
おまえの「呼吸」だけだリゾット!!

体内にいるスタンド…「メタリカ」…背景に姿を溶けこませる
なるほどドッピオが見た画面と
「予想が難し」ではあるな…
ドドド
ドドド

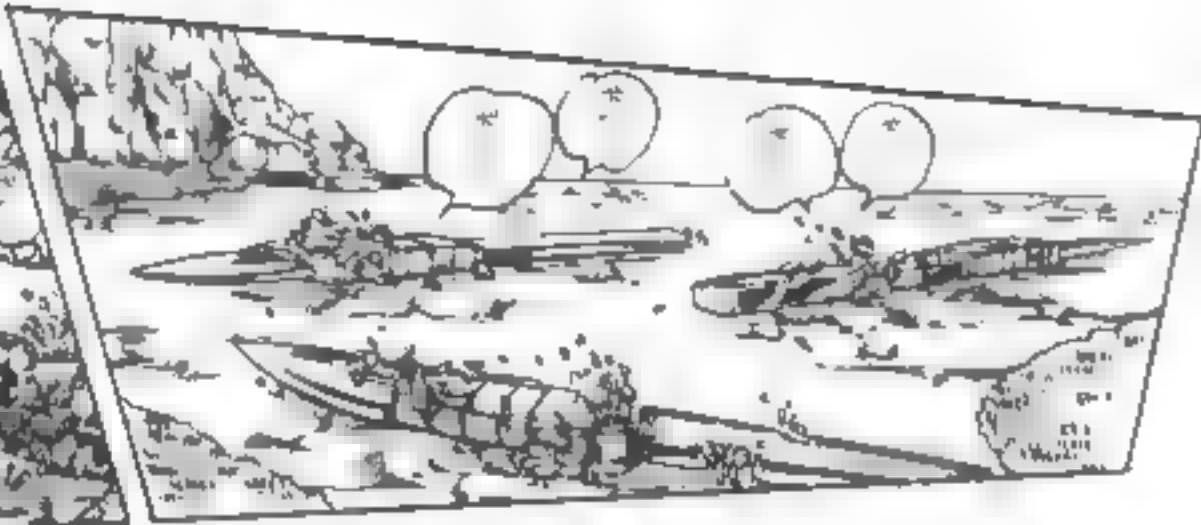
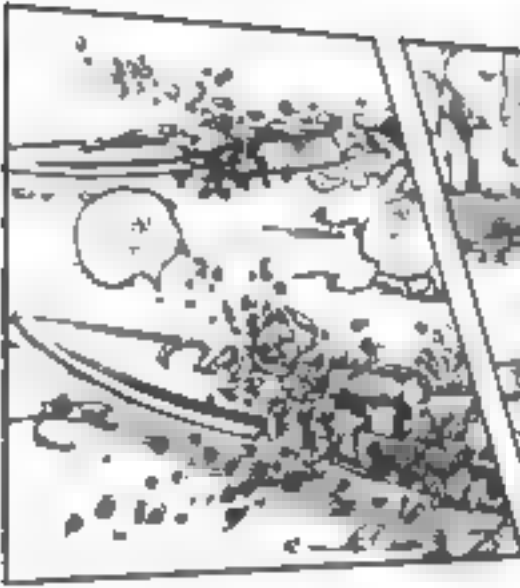
キング・クリムゾン V.S.メタリカ その⑤

ブッ倒れたぜッ！

ヤツは「エアロスミス」に完全にブチ抜かれたッ！
よし！何者か調べてくるぜッ！
待つんだアバッキオ!!

この海岸に今何人の「追っ手」がいるのかわからん！
おまえはすみやかに15年前…この海岸でトリッシュの母親の写真を撮影した者の「正体」を「再生」し…
できるだけ早くここを去らねば危険なのだ
崖の上にいるのはひとりだってば!!

ブチャラティ
オレはここに来る時の「飛行機でのスタンド」の事を思い出している
ミスタがヴェネツィアの飛行場で確実に敵を死体にしたのにあんな目にあった！
塔の上の野郎が何者なのか？確認しとかねーと安心できねえッ！
…

亀の中で
待機している
ジョルノ・トリッシュ
ミスタたちも
ここに呼ぶ
そして
「ムーディ・B」の「再生」で
ボスの正体がわかり次第
ここを立ち去る…
ナランチャ
「エアロスミス」で
ジョルノたちに
集合の合図を
カシャ
カシャ
カシャ
カシャ

ついに…
オレ…
は…
つか
んだ…
あんたの正体を…
オレは

ドッ
ドドドド
ドドド
ドッ

それ以上……
ここで その会話をすることは 許さない
リノット・ネエロ

ブチャラティたちに知らせる事だけはしたくなかった

おまえは自分がここまでやれた事を暗殺チームのリーダーとして「誇り」にして死んでいくべきだ

あの世でおまえの部下たちも納得する事だろう

おまえはもうまもなく死ぬ

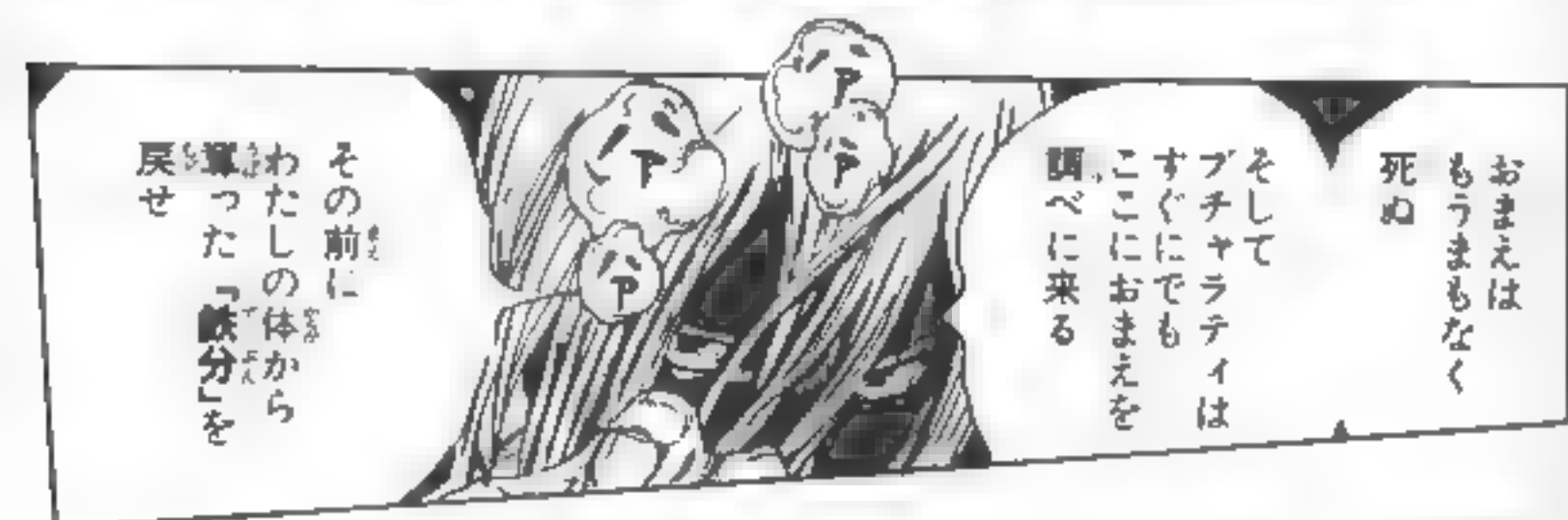
そしてブチャラティはすぐにでもここにおまえを調べに来る

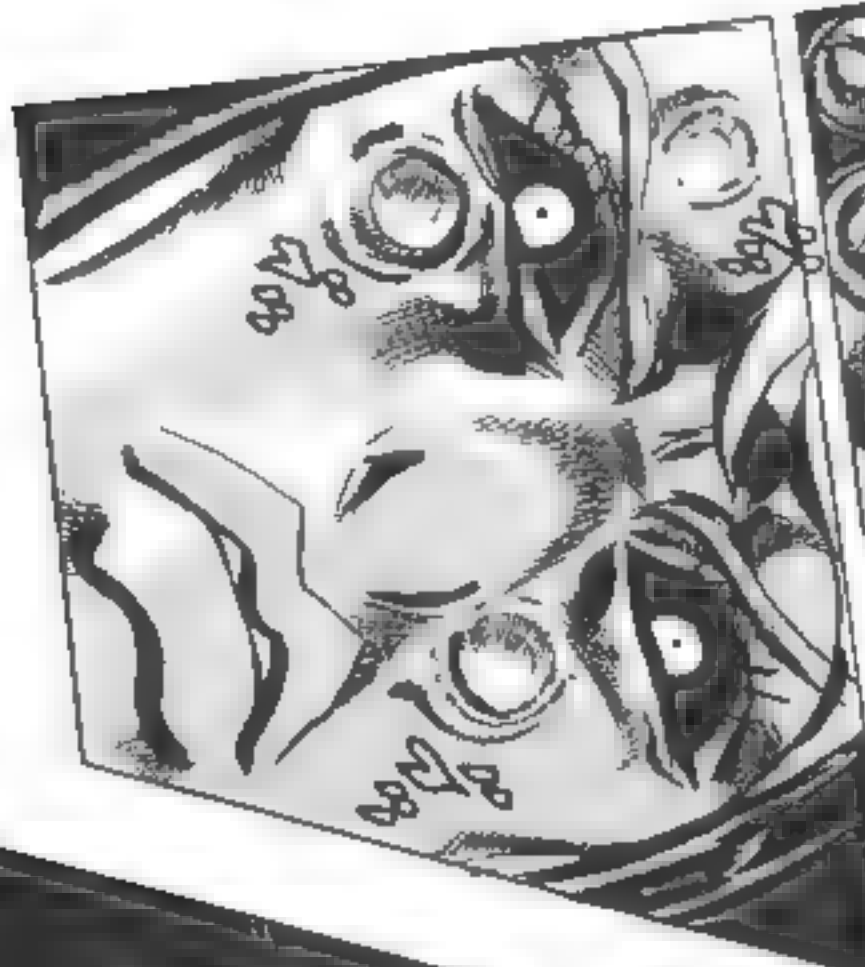
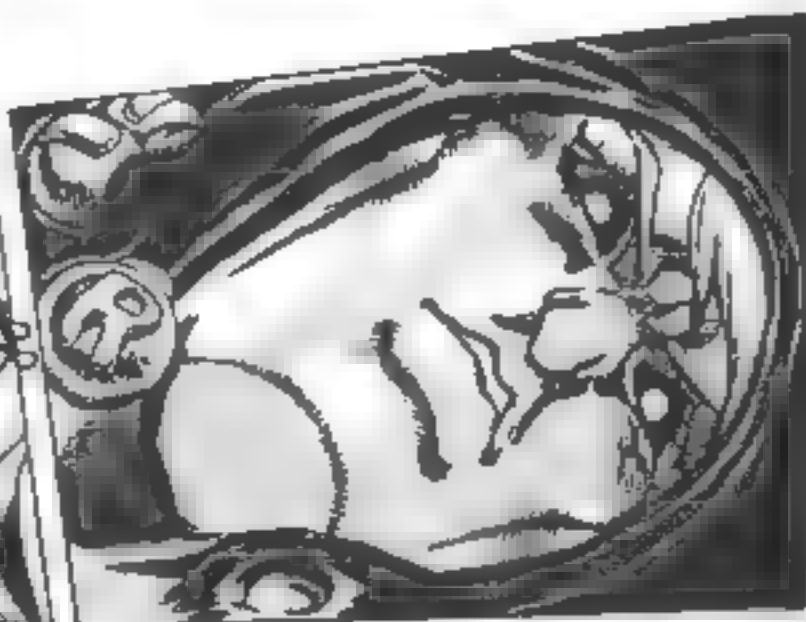
その前にわたしの体から奪った「鉄分」を戻せ

そうすればおまえのとどめはわたしが刺してやる

おまえの部下たちを葬ったブチャラティたちの前で次第に次第に死んでいくのは人生の終わりとして屈辱ではないのかね？

しかもヤツらはおまえの事をあっけない敵と思ってる

よく聞こえないぞ……
ハァ
すぐに「鉄分」を戻すのだ…リゾット・ネエロ
ハァ
死なねえっ
「エアロスミス」
今度はオレが…利用する番だ
『エアロスミス』を…
くらえ……!!

野郎(やろう) オレの「エアロスミス」に・ くっつけてやがったァ――――ッ!!

『キング・クリムゾン』

時間を0.5秒だけ吹っ飛ばした
その時間内のこの世のものは全て消し飛び
残るのは0.5秒後の「結果」だけだ
弾丸がおまえに命中するという「結果」だけが残る
途中は全て消し飛んだのだ

しかし、くそ

みごとだ リゾット・ネエロ

「誇り」は失わずに
命を絶った…
そしてわたしは
依然変わらぬ窮地に
追われる状態と
いうわけだ……

まずいぞ…
何とか
しなくては……

ハアー
ハアハア
ハア

何かが
「エアロスミス」に
もぐり込んで
来たんだ

あそこだ

やつらが

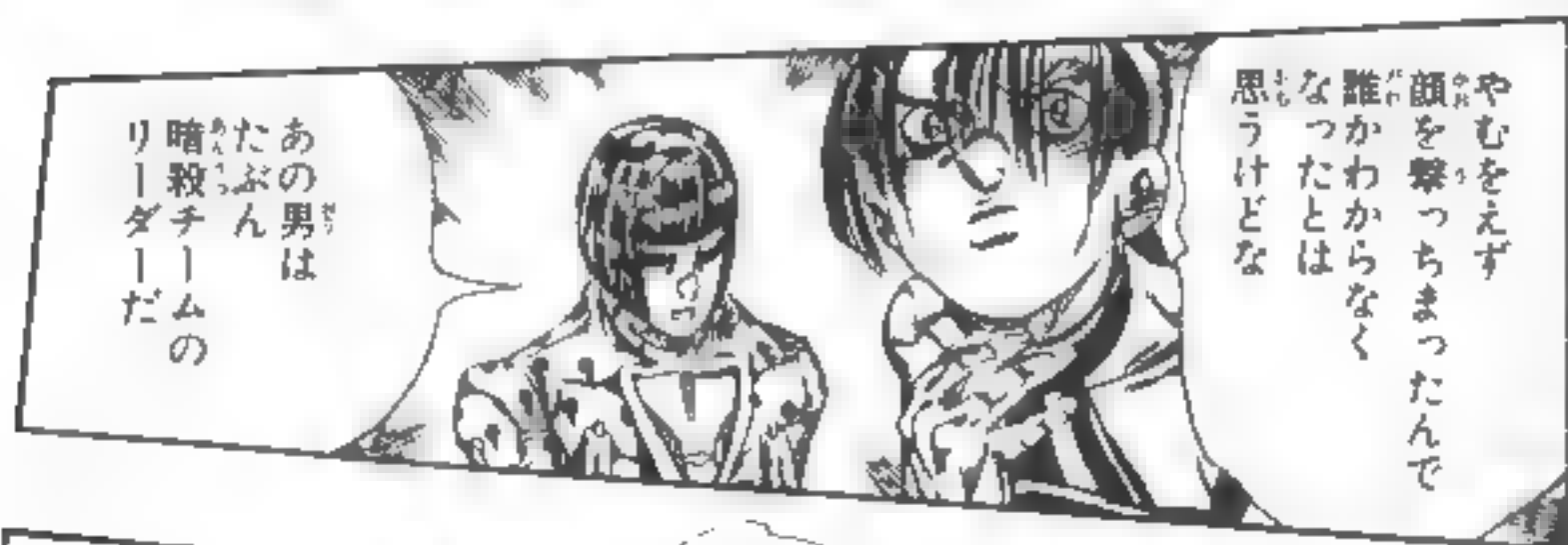
来る！

何とかして
ハァ
「鉄分」を
ハァ
体に補給しなくては……
……体が…
ここはとりあえず身を隠さなくては…
栄養としてどのくらい体内にとり込めるのか………
身を隠して……何とかして「鉄分」を補給しなくては…
ハァ
ハァ
ハァ
くそっ!
よしそこで止まれ
この位置から用心深く近づいて調べる

もう近づいても大丈夫だよブチャラティ！

呼吸も完全に停止したし

「スタンド」も消滅した

まちがいなく死んでいるのは確かだ

やむをえず顔を撃っちまったんで誰かわからなくなったとは思うけどな

あの男はたぶん暗殺チームのリーダーだ

……

何でわかるの？

ここにチームを組まず単独で来ているというのは

自分に「自信たっぷりの遣っ手」か「仲間のいない狩りひとり」のどっちかだ…

そして彼は…
もうひとりの
『自信たっぷりの誰か』に
今そこで じゃま者として
殺されたのだ

……

ブチャラティ？
あのですねエ――
オレの「エアロスミス」…

ナランチャ
確認するか
おまえの
レーダーには本当に
ひとりの呼吸しか
反応しなかったのか？

ちょっと待ってよッ！
ヤツを蜂の巣に
したのは！

このオレの
「エアロスミス」だぜ！
それは確かだッ！

違う！
おまえは
利用された
だけだ……

ここには…
もうひとり
いた！

……

あの右足を
見ろ！

あの右足は
おまえが弾丸で
吹っ飛ばした
傷か？

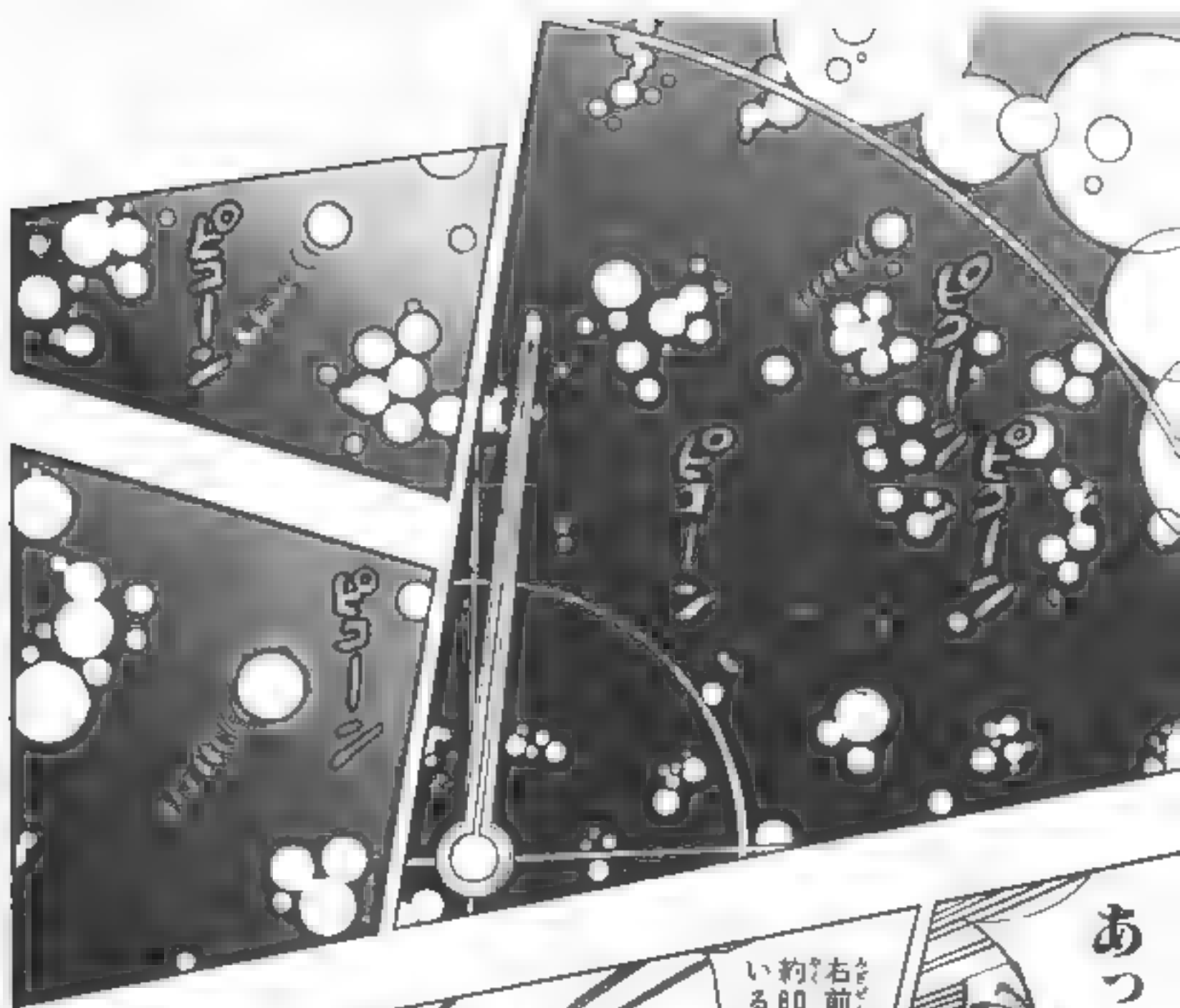
オレの『エアロスミス』の弾痕だよッ！
あの手も体もまちがいなくオレが吹っ飛ばしたものだッ！
そうではないッ！
おまえのスタンドの銃弾では焼けこげができる
あの足の傷は弾の痕ではない
コゲがない
何かでえぐり取ったような傷だ！
それともコゲない弾痕もあるというのか？
レーダーでコケてるかどうか探知して見ろ
あ
『エアロスミス』が全てやったように見せかけているのだ
何者かが闘いのあった事実をオレたちから隠そうとしている！

「エアロのレーダー」では絶対にひとりだったんだってばッ!
今も誰も反応はねえ!!
しかも 何でそんな事する必要があるんだよッ!
たぶん両者とも
予想以上の「能力」だったので生き残った方も今… 負傷しているのだ
どうやって呼吸を隠しているのかはわからないがな…
ナランチャジョルノたちに集合の合図はしたのだな?
今写真の館に向かっている!
よし追跡するぞ
今からはたとえばトカゲやネズミのような「小さな呼吸」も見逃すな
もうひとりのヤツはまだ近くにいる!! そいつはとても危険な「組織の追っ手」だ!

ゴォォォォ
ハァ
ハァ
ハァ
ハァ
くそ
サルティニアで
ヤツら
ごときの
ために
こんな
目に
あうなんて
ガリッ
ガリ
ムシャリ
ベチャ
ベチャ
ジュルン
失った
「鉄分」を
なんとか
して
カシャ
カシャ
ドドド
ドド

キング・クリムゾン V.S.(バーサス)メタリカ その⑥

ピ
ピピ
だ…だめだッ！こりゃあああ〜〜〜ッ
カエルとか野ネズミの呼吸レベルまで探知すると数が多すぎるッ！
ピピ
ピ
ピコーン
岩場とはいえ予想以上にいるぞ……
「呼吸レーダー」でもうひとりを探すのは無理だ！ブチャラティ!!
ピ
ピコーン
ピピ
こん中からどうやってひとつだけ区別していいかわかんねェーよッ！

ドド
しかも探知範囲を敏感にしすぎると
海岸の観光客の呼吸とかその自動車の排ガスまで流れて混ざってそれまで探知しちまうんだ!!
ドドド
ちくしょう このふたりのヌチャクチャブッ殺してやりますか!
今…「移動している印だけ」を見るんだ ナランチャ
ドドド
カエルやネズミなら近くの岩かげや穴に隠れようとする
おまえが探すのはそういう動きではない! オレたちから「逃げる動き」をしているものだ!
あるはずだ 区別しろ
え

ピコーン
ピコーン
ピコーン
ピコーン
ピコーン
あっ・・・
右前方
約80メートル先だッ！
いるッ！
ブチャラティッ！
あるよッ！
ひとつだけ
あるぞッ！
スピードは
そんなに早くはない
はいずるような動きだッ！
でも
観光客の方に
向かっているぞ!!

よし……しかしナランチャ攻撃はまだするな!
「何者」かしっかりと見てからだッ!
?
おい ナランチャとブチャラティはどこだ?
岸辺にはアバッキオひとりしかいないぞ…!!
「敵」があらわれたんです きっと2人は「敵」を追跡している…
そしてアバッキオはまだ「再生」までいってないみたいだ

『ムーディー・B』が
タイマーで
さがしている!!
正確な時刻を!
カシャ
カシャ
カシャ
写真が撮影されたのが
15年前の8月とまでは
トリッシュが記憶していたけれど
ピタリとした日時は
なかなか見つからない
みたいだ!!
カシャ
カシャ
正確な
時刻にさえ
一致すれば
――
『ムーディ・B』は
あの場所で 15年前
トリッシュの母親と
いっしょにいた……!!

『ボス』の姿に
自動的に
変身するッ！
そのために集合の合図を送って来たんだなッ！
「ムーディー・B」で「知るべき事」が判明次第
海岸をすぐズラかるってブチャラティの合図だ
ブチャラティー!!
ヤツの「移動」が
止まったぞッ！
もう動いてねえ！
どこかその辺で…

は！
血…
血だ!? ここから急に多くなっている
やはりこいつ負傷しているようだぞ！
しかも枝なんかも折って
ひきずったような跡もある
呼吸が小動物並みに
「小さい」のもそのせいかも
しれない!

ゴゴゴ

ゴゴゴ
ズルズル
ゴゴゴ
ドドドド

よーしッ！
そこにいるヤツッ！
これからオレは　おまえを攻撃するッ！
もし戦闘が不能であるのなら
その岩陰から出て来い…
命を奪う事だけはしないッ！
3秒間だけ待つ！　いいなッ！

ド
ドドド
3秒!!
覚悟を決めてると……
ドド
ド
ド
ド
ド
『スティッキィ・フィンガーズ』!
ドドド

…みなした！

ボムッ
…………
どこ蹴とばしてんだよーヘタクソー
とれないヤツが悪いんだよ
いいから拾って来いよ早くぅー
おまえが拾えーッ

1985 06 25
カシャ カシャ カシャ カシャ
カシャ カシャ
カシャ カシャ
タイマーはもう25日だ
6月も終わっちまうぞ
カシャ カシャ カシャ
まだか！
本当にトリッシュの記憶！
6月なんだろうな…？
15年前の…
もっと上だよー
上だって
石投げんなよオー
おい
おまえらやかましいぞ
もっと向こうの浜辺の広いとこでやりな
枝をゆすれよ
よしのほれよ
だれだよ
蹴ったのは！

オレじゃあねェよ
眼ッたのおめェだろ
オレじゃあねェよ
おい 石を投げるなってばあぁ
カチャ
カチャ
しょうがねえな
どれどきな
ボムッ
ドドドドド
ドドドド

なんだこいつはッ！一体ッ！
待て！
攻撃はするな！ナランチャ！

こいつガキだぞ!!
ドドド
クソガキだッ!オレよりもずっと年下だこいつ
ドドド
こいつが組織の敵だっつーんですかッ!?ブチャラティ!!
当然違う!
一般人だ…海辺の観光客だ!追跡しているヤツとどこかですりかわったんだ
口を縫われている 叫べないようにされたんだ 自分のスニーカーのヒモで… こんな事ができるのはスタンド使いだけだ
しかもこの小僧の顔色!手の傷から大量に血液を失ってるみたいだ!

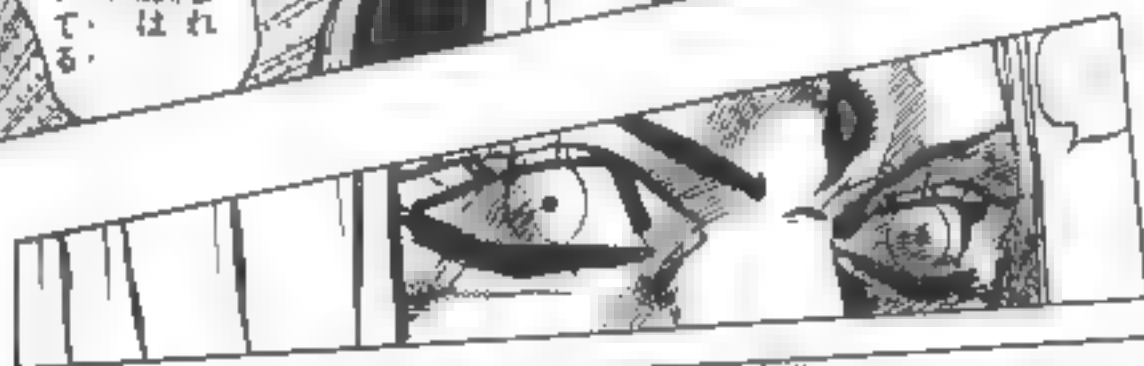
でもどこだ…
流れた血液は
どこへ行ったのだ！
血を抜かれ 死なない
程度に生かされている
ひょっとして追跡を開始
した時には もうこいつに
すりかわっていたのかも
しれない
なんなんだよ！
やった野郎は
どこだよ！ どうやって
消えたんだよッ！
さっきまで触ってたんだぜッ！
わからん……
一体!?
これは!!
ありがとう
ありがとう
ありがとう
行くぞ
オアア
こっちこっち
オアアア
———ッ

やはり
生まれ、故郷は いい、 つーいてる、
行くぞ オラッ
ちゃんと 蹴れよ ちゃんとーッ
TO BE CONTINUED

ウェネツィア
飛行機墜落現場
エメラルド海岸
サルディニア島
ロ マ
ネアポリス

今（いま）にも落（お）ちて来（き）そうな空（そら）の下（した）で

ドシャッ！
ガチャン！
ガチャン！
ドシャッ
バリーン
ガチャン！
ガチャッ
ドシャッ
ドシャッ

ガチャ
ガチャ
ガチャン
ガチャ!
ガシャッ!!
ドチャン
ガシャ!
ガシャッ
ガチャ
ガチャン
ガシャ
ガチャ!
ガシャン
ドシャ
ガシャン!
ああ
そんなとこで
……何してんだい?
おまわりさん

食事中すまないね

今捜査中でね…

「指紋」を捜している

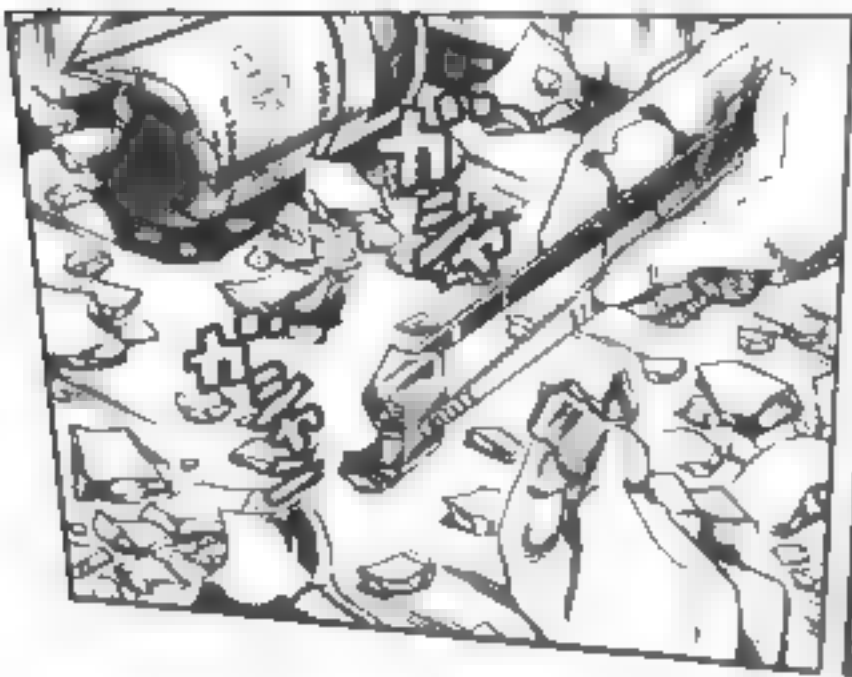
昨夜 向かい側の歩道で強盗があってね 被害者はビンで殴られたんだ

割れて飛び散ってね……でも歩道には破片が全部そろってない

ああ……
その……なんだ

なにか？
いや……その参考までに聞きたいんだが
ちょっとした個人的な好奇心なんだが

もし見つからなかったらどうするんだい？
「」なんてとれないかも……
いやそれよりも見つけたとして
犯人がずる賢い弁護士とかつけて無罪になったとしたら
あんたはどう思って……そんな苦労をしょいこんでいるんだ？

そうだな……わたしは「結果」だけを求めてはいない
「結果」だけを求めていると人は近道をしたがるものだ……近道した時真実を見失うかもしれない
やる気もしだいに失せていく

大切なのは『真実に向かおうとする意志』だと思っている
向かおうとする意志さえあればたとえ今回は犯人が逃げたとしてもいつかはたどり着くだろう？向かっているわけだからな……違うかい？
……
うらやましいな……
以前オレは
警官になりたいと思っていた
子供のころからずっと
りっぱな警官になりたかったんだ
かつてあんたのような『意志』をいだいていた事もあった……
でもだめにしちまった……オレって人間はな……
くだらない男さなんだって途中で終わっちまう
いつだって途中でだめになっちまう……

……そんな事はないよ
アバッキオ
え？
……………
おまえは
りっぱにやってる
じゃあないか
………
「意志」は
同じだ……
……
おまえが警官に
なったばかりの時、
いだいていた
その「意志」は、…
今…おまえのその心の中に
再び戻っているのだよ……
……アバッキオ
…………?
そういや…
あんた…
前にどこかで
会った事が
…ある
なんで
オレの名を
………
知って
いるんだ？
あのバスに
乗るんだ…
どこに
行くんだ
アバッキオ？
思い出して
きた…
そうだ!!

もう行かなくては……
オレは仲間のところに戻らなくては…!!
忘れたのかアバッキオ!?
おまえはあれに乗ってここに来たのだ
ここは終点なんだ……
もう…戻る事はできない
あ…あんたは……!!
そうだ!!あんたはッ!!
あんたはオレがワイロを受け取ったせいで撃たれて殉職した……!!
アバッキオ……おまえはりっぱにやったのだよ……
そう……
わたしが誇りに思うくらいりっぱにね……

バカなッ!!
バカなッ!
ちくしょうッ!
そんなバカなッ!
早く治せよ
ジョルノ!!
何もたつい
てんだよっ!!

早く治せって
言ってんだぜッ！
ドドドド
ドドド
蹴り入れるぜ
この野郎ォオ
オオーーーッ

一瞬だ――
至近距離で
あっという間に
起こっている
遅かった……
アバッキオとあろう者か……なぜこれほどまでに近づけてしまったのか
ミスタ
トリッシュを亀の中から出すな…
「敵」は次にトリッシュにとどめを刺そうと攻撃してくるだろう
この場はただちに去らなくてはならない
全てはオレの責任だ
この「場所」からはもう
「ボス」の手がかりはつかめないッ!
……
今アバッキオは目覚める途中だってばよオ!!
何言ってんだよーブチャラティ
時間がかかってるだけだって!!
少し待てば起き上がるってッ!!
そうだよな!?ジョルノ
前もそうだったよな!?

くどいぞナランチャ
ここは危険なのだッ！
おまえは
「エアロスミス」を出して
周囲を警戒しろッ！
何言ってんだよ
ブチャラティ
何言ってんだよオオオオオオオオオオオ
オレは敵が来るなら　ここでやってやるぜーーッ
近くにいるなら迎え撃ってやるぜーー
ミスタ
ああ
ジョルノッ
ドン
……
おい
ミスタ
ーー!!
行かなくては
ナランチャ
ブチャラティの
いうとおり!!

なんだとーッ
ジョルノ てめーが
手抜きしてんじゃあねーのか
この野郎ッ！
甦らせろッ！
根性入れて
やりやがれ
この野郎オオ
ーーーッ!!
もう
やめろ
ナランチャ
ここに
おいていくのか
よオオオオ
ブチャラティ〜〜〜〜
アバッキオを
ひとりぼっちでおいてくのかよオオ
オオーー
おいてくなんて
オレはヤダよオオオオオオオオオオ

これは命令だナランチャ
アバッキオも覚悟の上ここに来たのだッ！
出発するぞッ！
待ってブチャラティ
また…少し……
これには何か意味がある…
何か……

手に何かにぎってるぞ……
今 ナランチャがつかみかかったから指が少し開いたようだ
どこかの岩の「破片」みたいだ
何か意味を感じる………
握っている意味を…

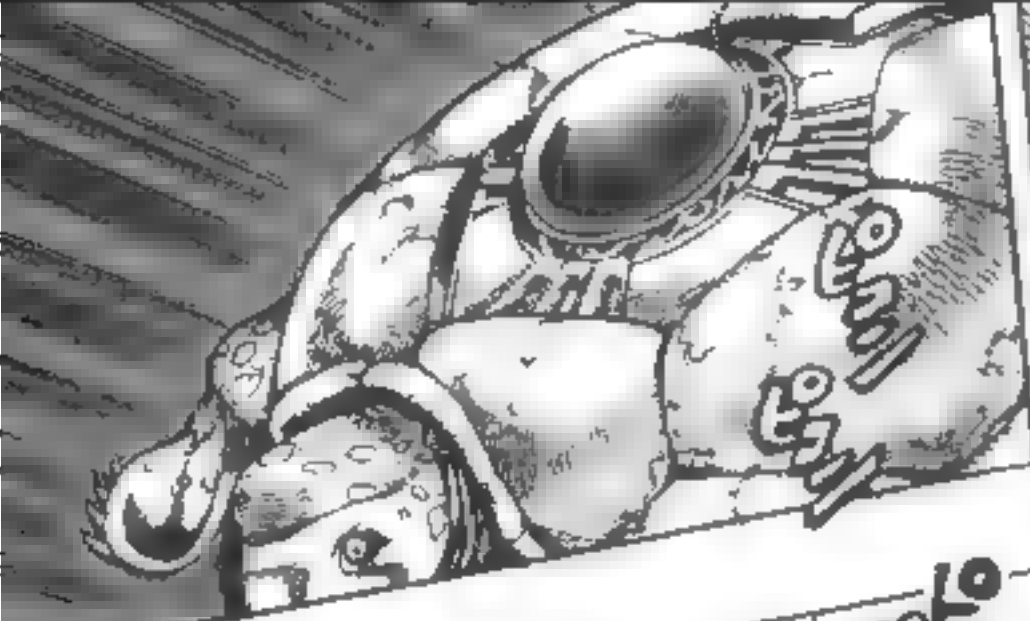
ヴァァァーーー
ブゥゥゥン
おい……見ろよ
……よく見ろよ 石碑のかげを
どこの部品か良くわかるぜ……
そしてアバッキオはどうやら…
ドドド
ドドド

お…おい これは
「再生」は…
終了してた みたいだな
ドドドドドド

ドドドドド
これは『デス・マスク』だ‼
再生の最後の顔
アバッキオの
『ムーディー・B』が
くちゆく前にッ!

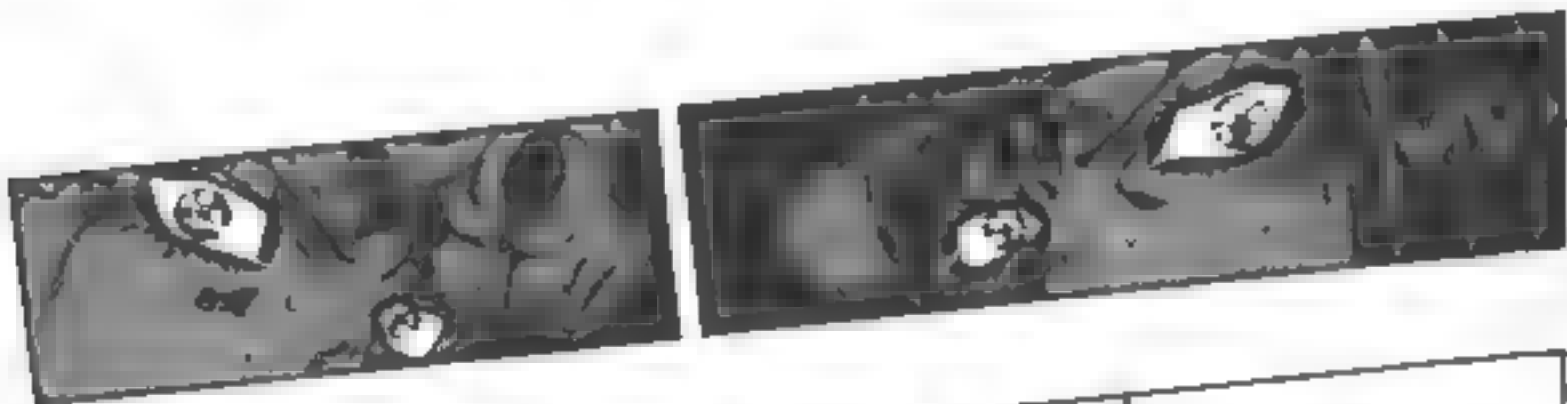
最後のスタンドEで変身した顔の形を石面に押しつけたのだッ！
指紋までわかるッ！くっきりとめり込ませてあるぞ！
これで下体がたどりつけるカタをとればハッキリわかるッ”
アバッキオは最後に残してくれていたッ！
これがボスの素顔だッ！

アバッキオ
おまえはりっぱに
やったのだ
そしておまえの
真実に
『向かおうとする意志』は
あとの者たちが感じとって
くれているさ
大切なのは…
そこなんだ
からな……

プロント! 通話中
その①

ピコン
ピコン
バッ
ピコン
ピコン
だめか…？
該当者
なし
ピコン
ピコン
ピコ
ピコ
ピコ
該当者
なし
ピコ
ピコ
ピコ
ピコ
ピコ
該当者
なし

国際警察の記録に侵入してもだめか？
やはりブチャラティ……
どこにもないようです
ボスならたとえ15年よりも前に「前科」があったとしても警察にある指紋なんかの記録は
すでに消し去っているでしょうからね…
このサルディニアの警察はどうだ？
この地元の警察のどんな小さな記録でもいい！
だめです……
ありません……
どこかを探すんだ……ッ!!
必ずあるッ！
ボスは娘の存在を消し去ろうとし素顔を知られるのを恐れた…
あるからこそ探すのだ…
この男の「過去」がッ！
どこかに必ずあるッ！

ゴゴゴゴ
ゴゴゴ

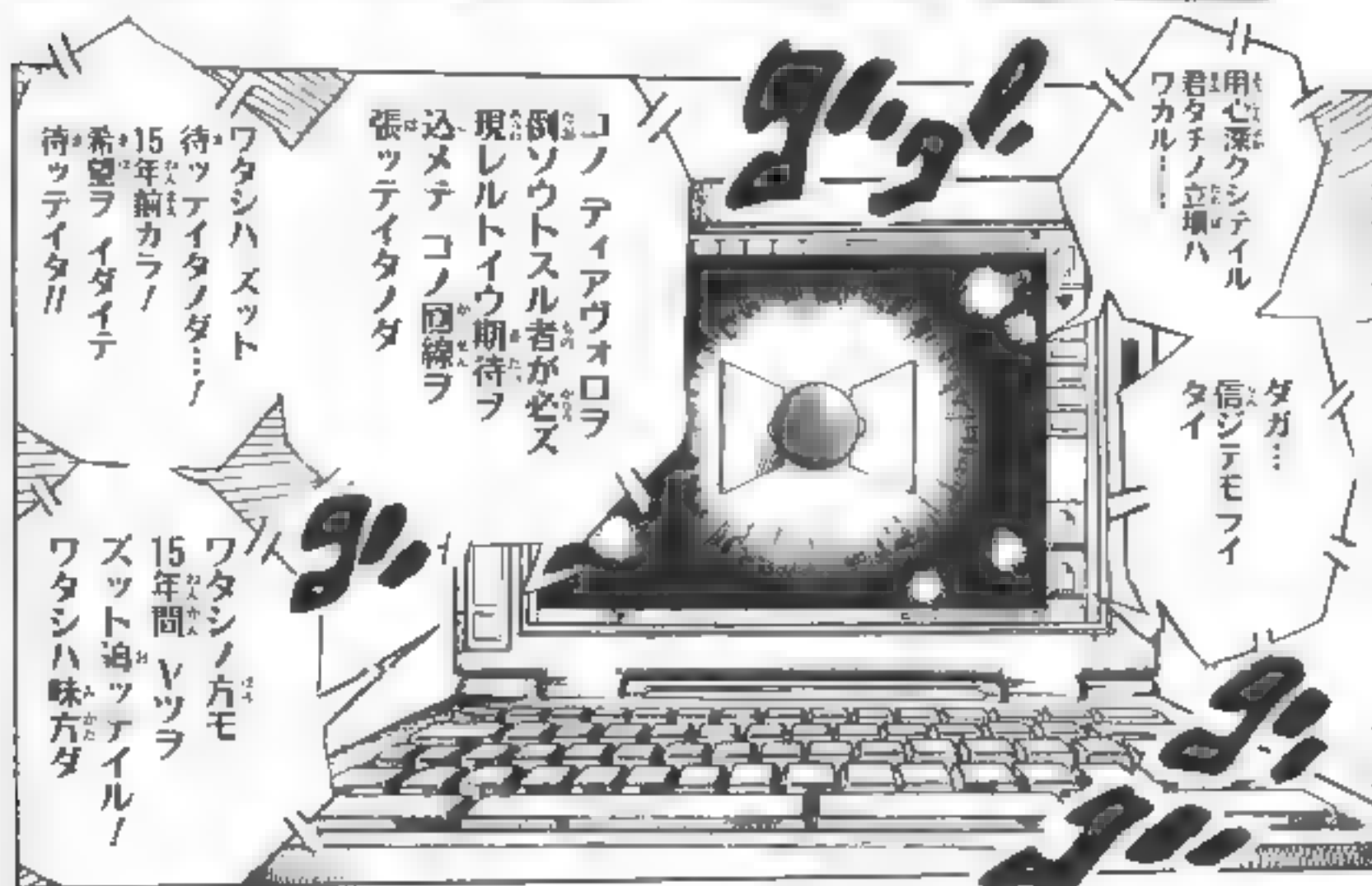
許してはいけないわ……
あたしの心にも この男は許してはいけないと感じるわ……
ヴェネツィアの時と 同じ感覚が さっき「少しの間」あった……
アバッキオに 近づいたのは……
「父」だわッ!

この男が直接
アバッキオに手を
下したのよ〃
それが今
わかるわッ〃
ボスがここに
来てると
いうのか？
トリッシュ
ええ・さっき
感したのよ
……
ブチャラティ
〃
今はどこか
わからないけど
この海岸の
どこかにいるわッ！
今はだめだ！
ここは身を隠すッ！

ボスの正体を確実につかみ「暗殺」するのでなければオレたちは負ける…
なんとしてもまず"正体をつかまなければ!!
ブチャラティ……
今思いついたんですが
しかもここに「新手」の殺し屋を集合させようとしているのかもしれない!
「死亡した者」の記録はどうでしょう?
ボスは全ての個人記録をデータから消すとき自分を「死亡した」事にしたのかもしれない
だけど「指紋」は死後もとりあえず保管されるんです
10年以上もたってから見つかる古い殺害死体から「指紋」がとれる事などがあるからです
やってみよう
アクセスコードはこれだ
カチャ
カチャ
カチャ

ゴゴゴゴ
該当者　なし
該当者　なし
だめか…ボスはやはり抜け目ない……
「指紋」からは追跡できない……!!
15年前のこの顔を覚えている者を直接探すしかないのかッ！
だが時間がない！ボスが近くに来ているというのならッ!!
ソンナ事ハナイゾッ！
君タチハ追跡ヲモウ…
「終エテイルッ」！後ハ倒ス方法ヲ見ツケルダケダ!!

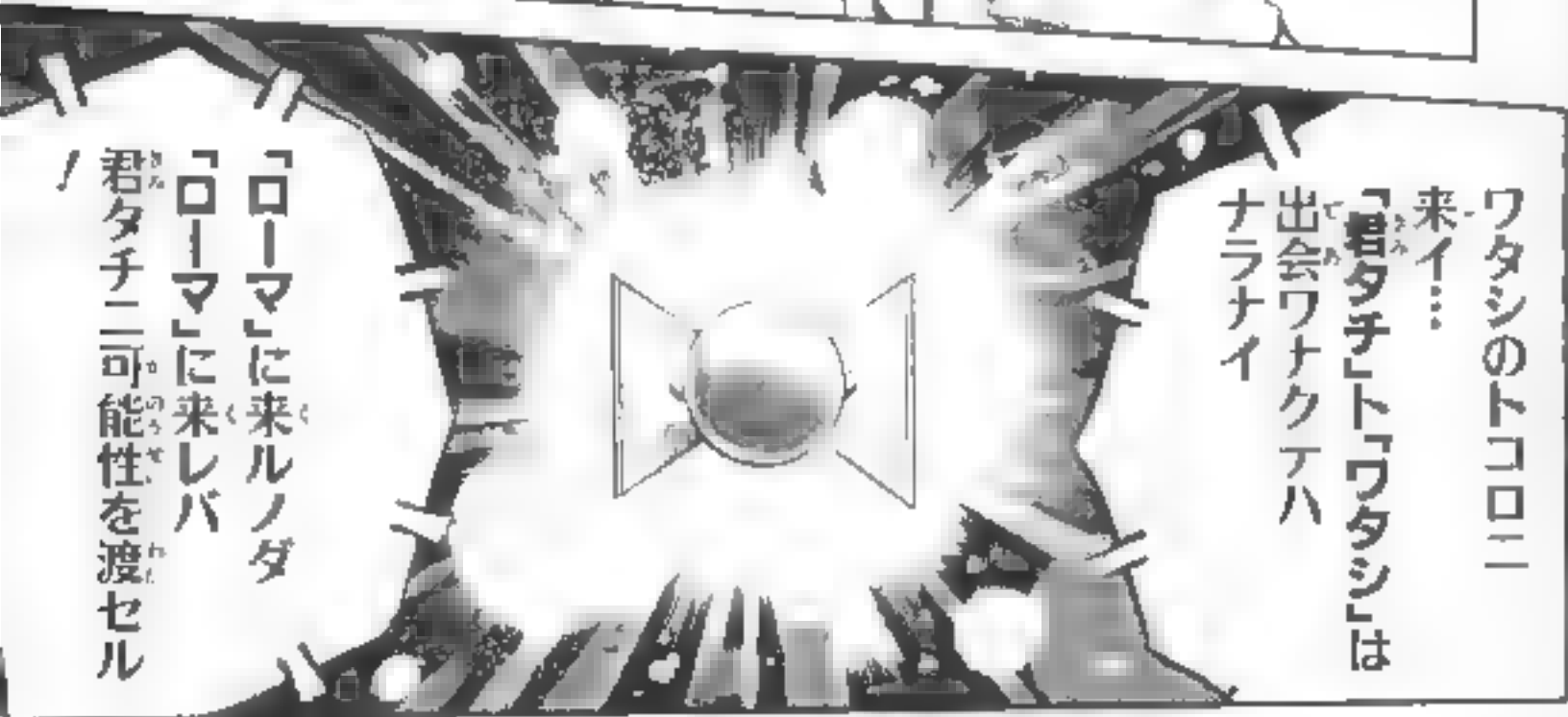
待ッテイタゾッ!!
コノ男ヲ必死ニ調ベヨウトスル!
君タチのヨウナ者ガ現レルノヲッ!!

逆探知されたぞッ！
ジョルノ通話を切れッ！
ドドド
ドドド
ドドド
「ディアヴォロ」ヲ倒シタイノダロウ!?ワタシハ味方ダッ！
待テッ！切ルナッ！
ドドド

ディアヴォロ？
しっ！
用心深クシテイル
君タチノ立場ハ
ワカル……
ダガ……
信ジテモライタイ
ダッ
コノ ディアヴォロヲ
倒ソウトスル者が必ズ
現レルトイウ期待ヲ
込メテ コノ回線ヲ
張ッテイタノダ
ワタシハ ズット
待ッテイタノダ……！
15年前カラ！
希望ヲ イダイテ
待ッテイタ!!
ダッ
ワタシノ方モ
15年間 ソイツヲ
ズット追ッテイル！
ワタシハ味方ダ
ダッ
ダッ
そいつは
どうかな？
ディアヴォロだと？
そんな名を
言ったところで
おまえが
味方だという
証拠にはならない
ジョルノ
通話を切れ
ヤツノ
スタンド能力ハ
『時ヲ飛バス事』ガ
デキルッ!!

ソレハ知ッテルノカネ?
モットモ
ソレヲ知ッテ追ワレテルカラコソ必死ニヤツの正体ヲ調ベヨウトシテルンダローガネ!
味方だわ……!……
この人味方よ!!
「スタンド能力」を知ってて生かされているヤツの部下はいないわ!
黙ってトリッシュ
まだこちらの手の内は見せてはいけない
よし…話は聞こう
何者かまず名を名乗れッ!

ワタシの名ナド
ドウデモイイ
ワタシハ ステニー
再起不能ノ
体ニナッテ
イルンダカッナ
ワタシハ モウ
闘エナイノダ
肝心ナノハ
君タチガ ヤツを
倒せルカドウカダ
おまえは
スタンド使いの
ようだが…
ボスを倒す
方法を知って
いるというのか？
ヤツの
「時を吹き飛ばす」
能力ニ弱点はナイッ
君タチハ コレカラ
ヤツを「暗殺」ショウト
考えてイルノ
ダローが
ヤツの
「キング・クリムゾン」は
無敵だ!!
シカシ
倒ス可能性ハ
知ッテイル
可能性ダ
ソレハ
キット
失敗スルゾ！
そのままデハ
マズ君ラハ
「返り討ち」にナルノハ
目に見エテイル!!
君ラハ
それを手ニ
入レナケレバ
ナラナイ！

手に入れる？

……だと？

ワタシのトコロニ来イ……
「君タチ」ト「ワタシ」ハ出会ワナクテハナラナイ

「ローマ」に来ルノダ
「ローマ」に来レバ君タチニ可能性を渡セル！

「ローマ」だと!?

さっきからおまえはオレたちに何をさせたいのだッ？

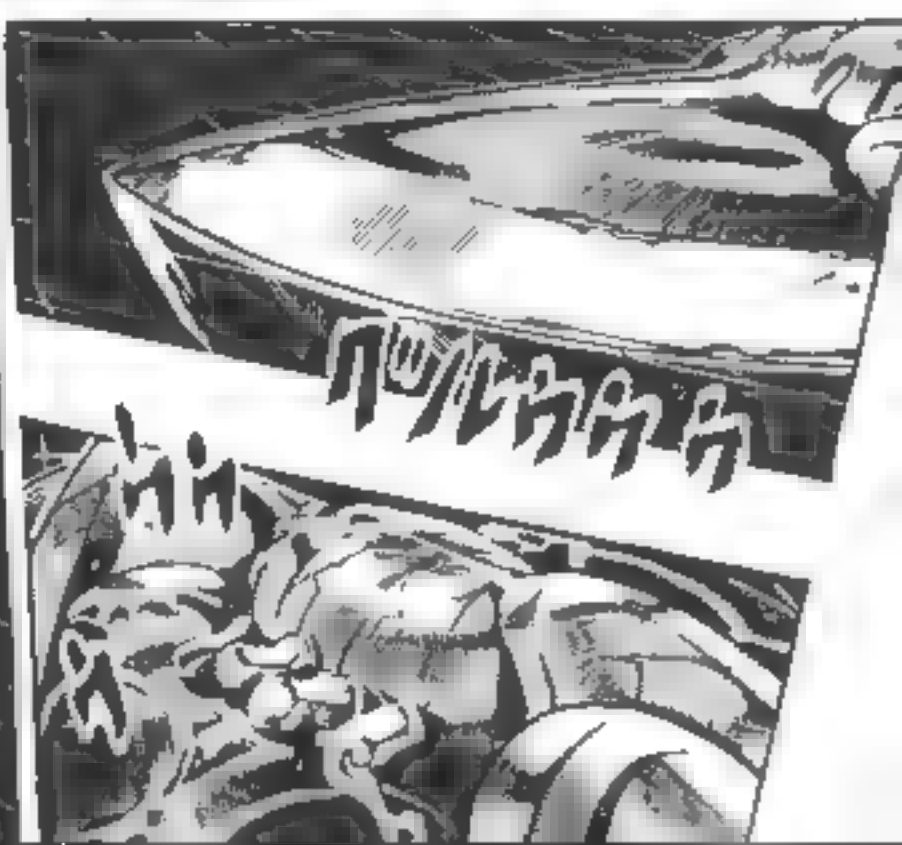
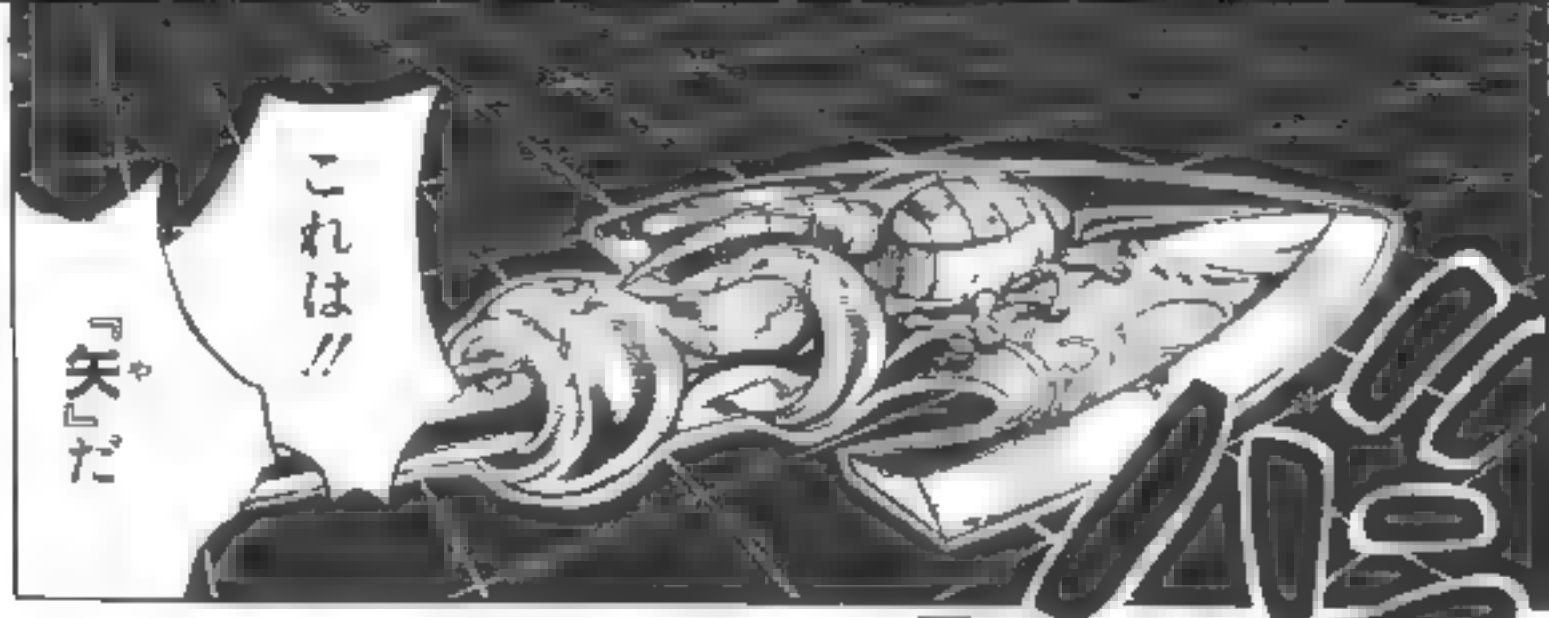
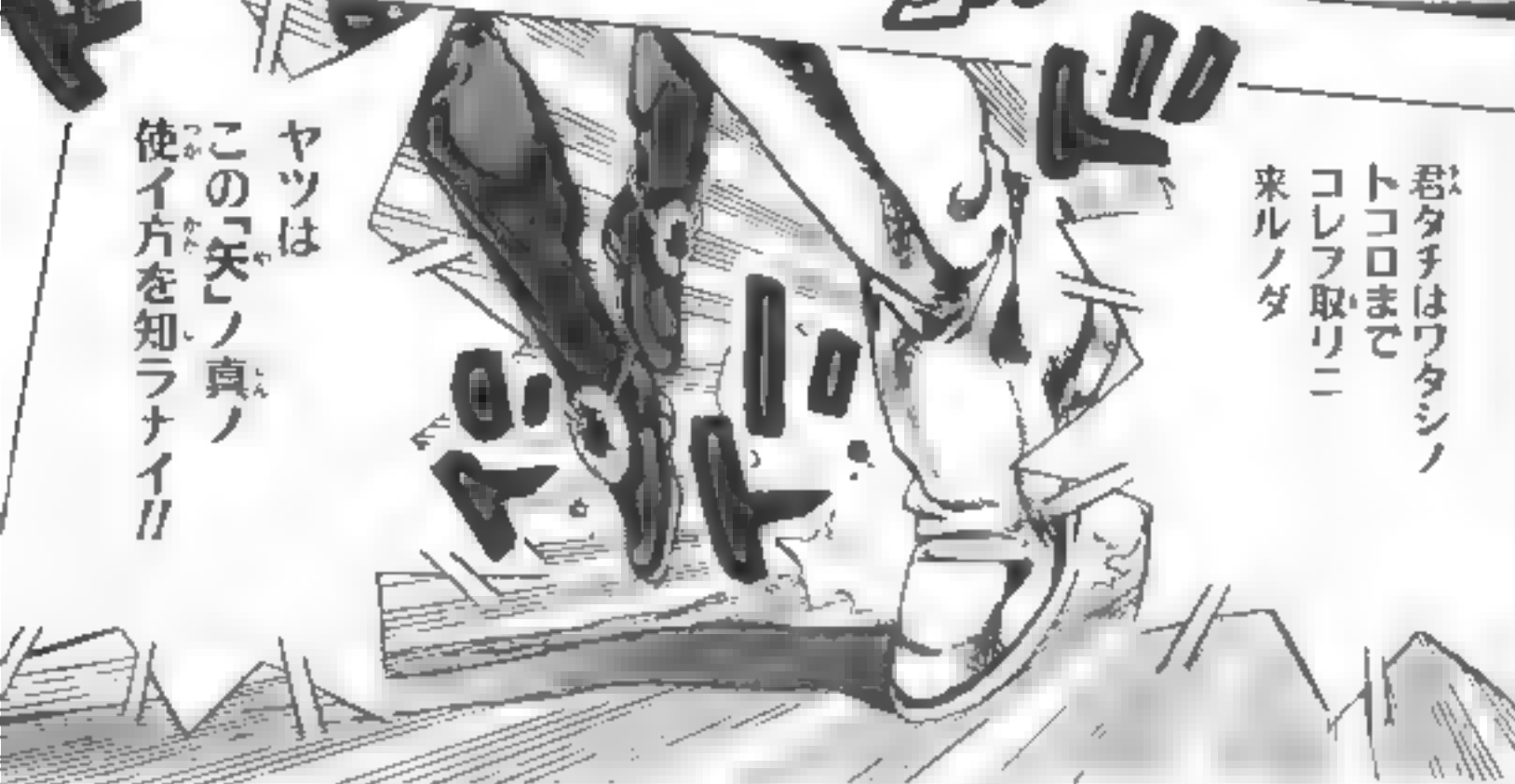
ボスとおまえはどんな関係なのだッ？
信用してローマなんかにオレたちが行くと思うのか！

コレカラ画像を送ルガ… 君タチハ「コレ」を知ッテイルカネ？

イヤ…知ッテルハズダ！
君タチノ何人カハ「コレ」ヲ知ッテイルハズダ！

ガオオオ

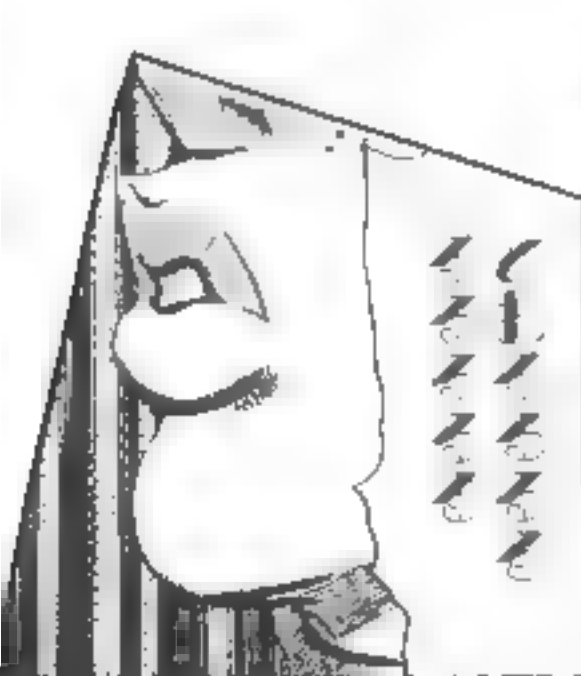
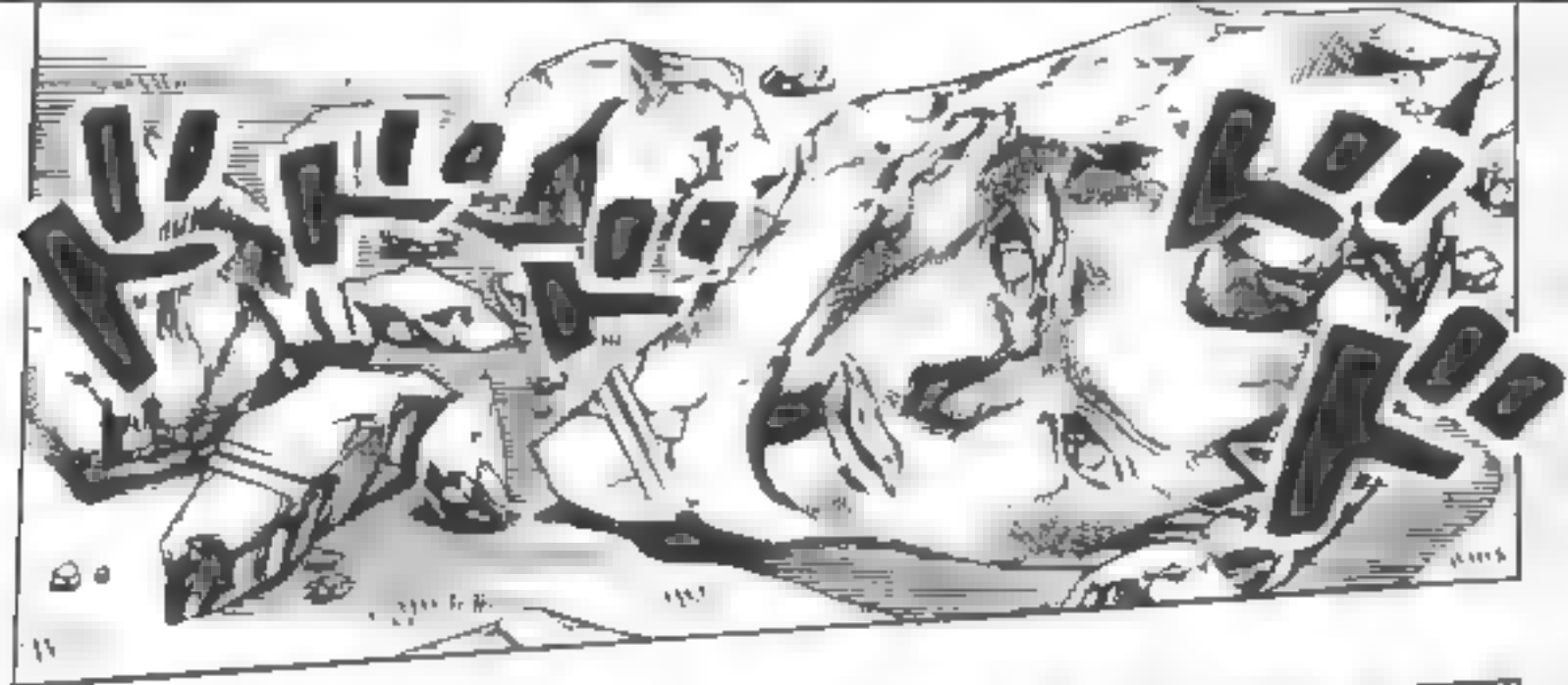
オオオオ

これは!!

これは!!
『矢』だ
いや…
似ている!!
なぜおまえ
これを持って
いる!?
ワタシの
話ヤ
過去ノ話ハ
アトデ聞カセテ
アゲヨウ
君タチの何人カハ
ヨノ「矢」に貫カレテ
スタンド能力ヲ
身にツケタノデハナイカネ?
ティアヴォロガ
コノ矢ヲ使ッテ
自分ノ都合のイイヨウ
人ヲ利用スルタメニネ…
君タチはワタシノ
トコロまで
コレヲ取リニ
来ルノダ
ヤツは
この「矢」ノ真ノ
使イ方を知ラナイ!!

この「矢」には
秘メラレタ叡知がアルノダッ!
ソレヲ教エヨウッ!
「キング・クリムゾン」を超エル
力を手に入レナクテハ
ナラナイ!
ローマに
来ルノダ
この「矢」はアノ男を倒ス
タッタヒトツの
最後の手段ナノダ!!

あっ オメーらッ！
何で電話に出てんだよ コラァーーッ
オレに かかって来てんだ！
よこせ！
このメスがッ！
ひっ
ひいいいいい
はいイイイ～
もしもし
はい
ドッピオです

「妙だ……」
「ドッピオ……」
「何か気づかないか」
「ヤツらはアバッキオを始末されたから目的を失って退散するはず」
何が？ です……ボス
「ブチャラティたち……」
「しかし違う……」
「逃亡の仕方に「迷い」がない……」
「何かを追跡するように 目的に向かって停泊してあったボートを沖へ進めている」
「調べろ……再びアバッキオのところへ戻って調べるのだ」
ゴゴゴゴ
「何かおかしい」
調べるって……一体何を……？
「いいからアバッキオのところへ戻ってみろ」

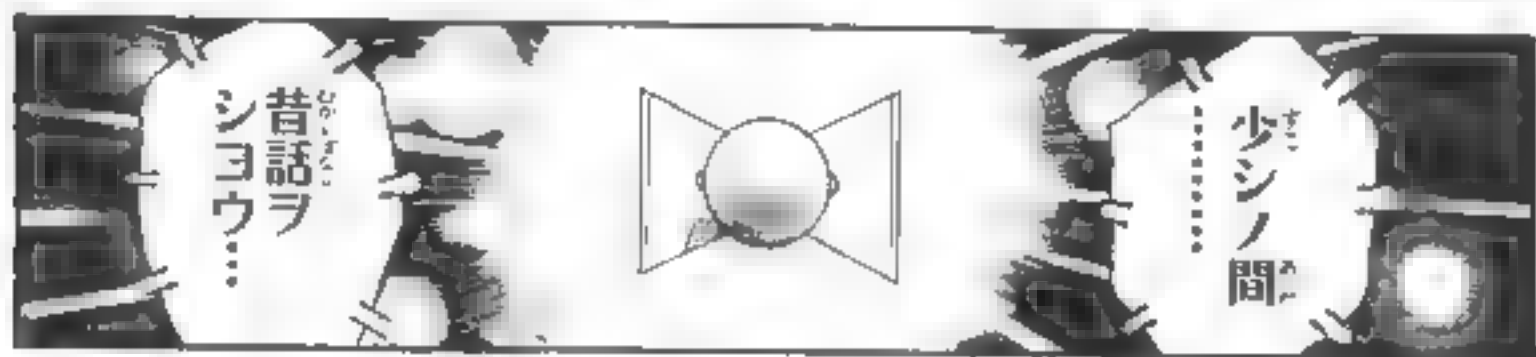
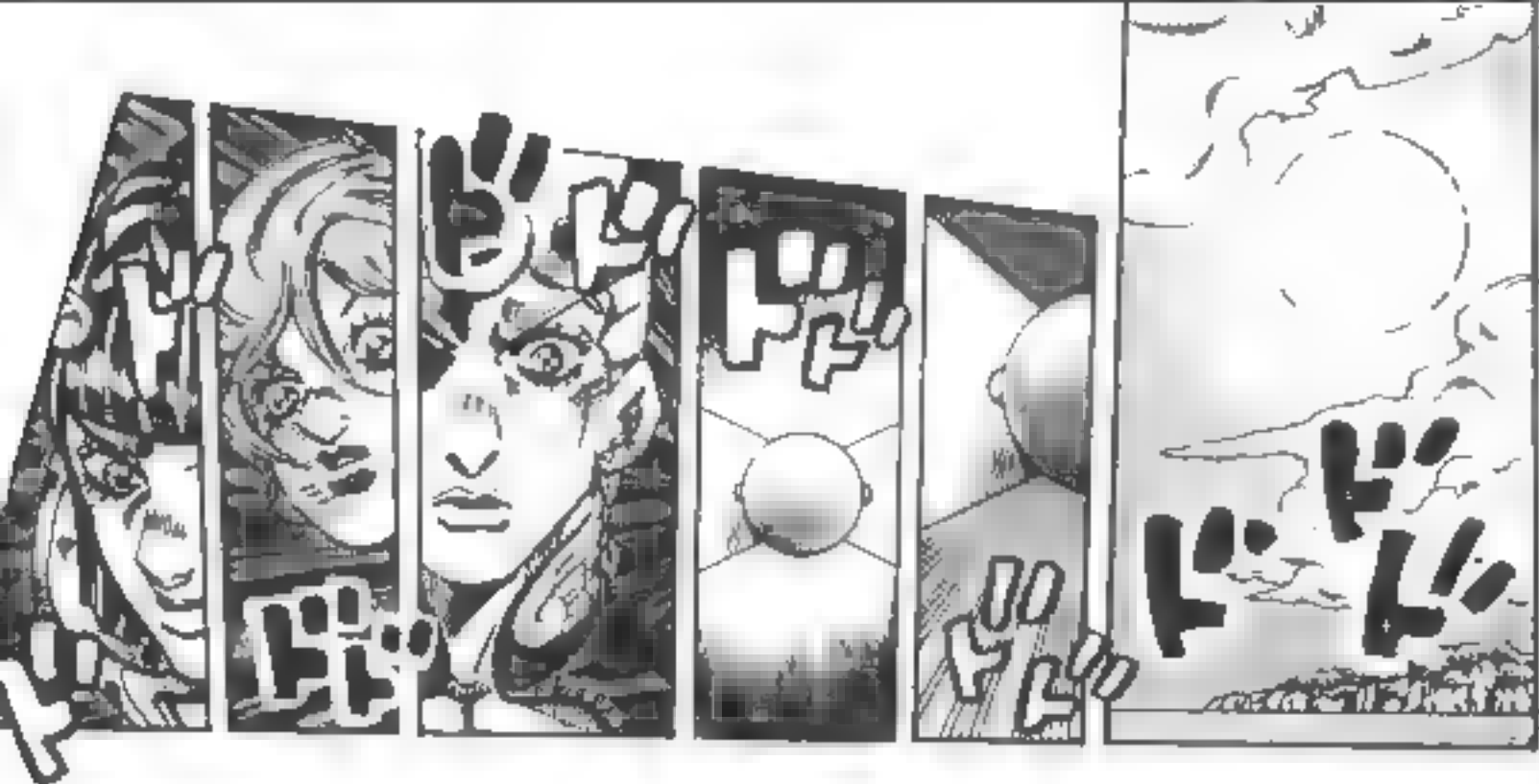
プロント(もしもし)！通話中(つうわちゅう)

その②

「恐怖というものは」
「思いもよらぬ過去からやって来る…」
「オレは……」
「奴の存在を知った瞬間からオレはこの事を恐れていた……」
「これを恐れていた……」
「わかる…オレにはわかる…」
「あの裏切り者どもは……まちがいない」
「オレの知らない「何か」を掴んだのだ!!」

ドドドドドド
……
……
ドドドドドドドド
掴んだって……一体何を……!?
ボスがアバッキオをやったヤツらにそんな暇なんか!
「思いもよらぬ『何か』だ!」
「ヤツらはもうこのサルディニアにはいないッ!」
「追うのだッ! ドッピオ…」
「おまえが直接追跡しなくてはならない! そして…」
ドドドド

『「チョコラータ」と「セッコ」』
「あのゲスどもの力だけは借りたくなかったが……」
やむをえん……2人に行く手を阻止させろッ！これは…最後だからな……!!
「いいか ドッピオ 恐怖というものは打ち砕かなくてはならないのだ！」
「それは今、なのだ…今！絶対に乗り越えなくてはならない！」
「それが「生きる」という事なのだッ！」

グリーン・ランドに「ケープヨーク」というイヌイット以外人が住まない土地があるが

そこは隕石で出来たクレーター跡で有名なところだ……いつ落下したのか？ それはわかってないが 数万年前だろうと言われている

昔話は一九七八年の事だ……

そのクレーター内で
鉱物資源調査をしていた
作業員11名
うち「2名」が原因不明の病気に
感染し 死亡した事がある

2人は

全身に
水泡のような
腫瘍ができ

四十八時間以内に
トマトソースの
ようになって
死亡したという

その場所は
ツンドラの寒冷地で
病原菌やら
ウイルスは発生しない

原因を調査した政府医師団は
2名の調査員が共に
クレーター内でころぶか
なにかして 手足に
すり傷などの
岩でこすったような

小さな負傷を
している共通点を
見つけた

そして医師団はひとつの事を断定した

このクレーター内のある隕石の中には数万年前のウイルスが閉じ込められて「眠って」おり

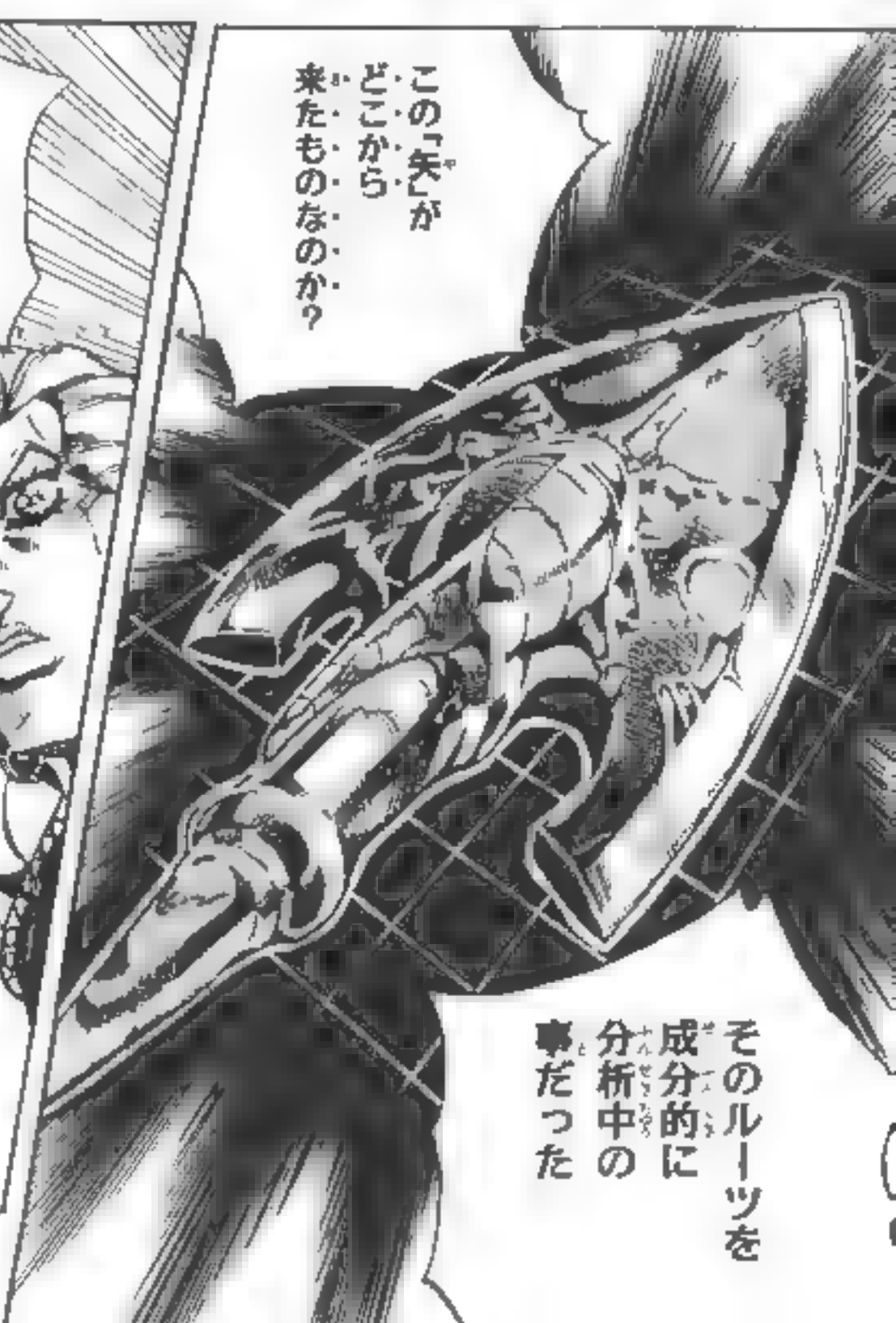
それが傷口から血液に入り感染したものとしか考えられないというのだそのウイルスは隕石に付着して飛来したのかもしれない…

しかも

2名中1名の発病後の症状に 常識では考えられない肉体の変化の事実が 記録として残されている

ベッドの上ですでに彼は意識はなかったが

突然 自分の指先からスタンガンのような火花を放電し

この「矢」がどこから来たものなのか？
そのルーツを成分的に分析中の事だった
この「矢」の材質はッ！
ケープヨークのクレーターで採れる 岩石と同じ物質なのだッ！

何百年… いや… どのくらい昔かは知らないが

ある完璧なる神のような力を求める昔の人間が

ウイルスというものは知らないだろうが この岩石の存在を知り…「矢」として作り変えたものがこれなのだ…

「殺人ウイルス」というものは生命を淘汰するッ！

これは「ウイルス進化」という学説なのだが ほとんどの者はそのウイルスに感染すると死に至るが……

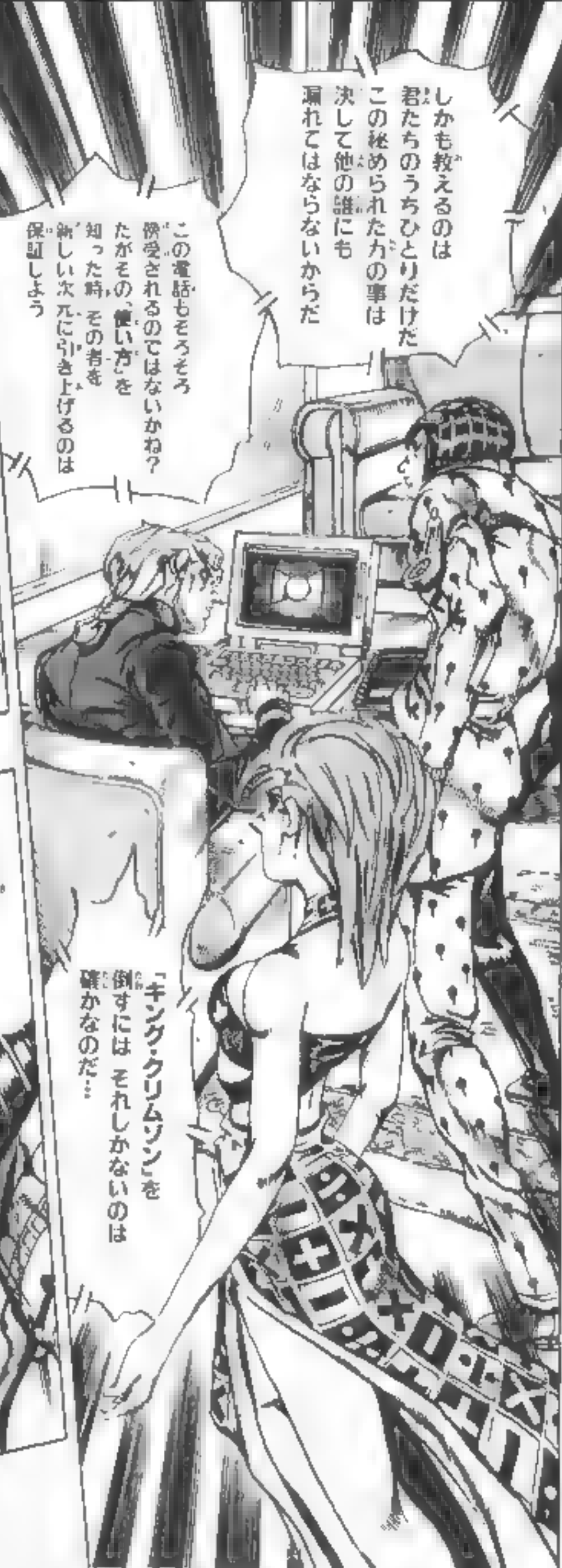
偶然に生き残る素質を持つ者もいる…

そしてウイルスは生き残った者にご褒美のように「新しい生命能力」を与えるというのだ

それはスデに証明されているね？

君たち自身の体で…

ボスがこの「矢」を軽くあつかっていたのは確かだ… すでに破壊されている
だがあんたはこれをどうやって手に入れた？
説明したように
この「ウイルス」は人を選ぶ…
この世に「矢」が何本あるかは知らないが…
……「矢」の方が素質ある者をひきつけるのだ
わたしはエジプトで偶然手に入れた
君らのボスもエジプトで15年前手に入れた

しかも教えるのは君たちのうちひとりだけだこの秘められた力の事は決して他の誰にも漏れてはならないからだ
この電話もそろそろ傍受されるのではないかね？たがその「使い方」を知った時その者を新しい次元に引き上げるのは保証しよう
「キング・クリムゾン」を倒すにはそれしかないのは確かなのだ…
あんたの話には確証がない…
しかし……
何者か知らないが
ボスが聞いたらあんたを始末しにくるのは確かだ……
あんたを信じようッ！
落ちあう方法は？

ローマのコロッセオに来るのだ…
来れば わかる
何時だろうと わたしは… 待っている
コロッセオだ…
そこで すべてはわかる
ザザザザザ

ザザザザ
ザザザザ
立てよオオオ
だめだったらよオオオオッ
はなせよオ
手エエ〜〜ッ
だめだったら
よオ——
そんなとこ
しがみついてんなよォーッ
うるせエエエっ
やってやるーッ
だから
よオ〜
小便してなにが悪い
オレはするぞーッ
ぜってーやってやるぅ〜〜
そこはトイレじゃあ
ねーんだよオオオ
水飲み場だ！
この酔っぱらい
めッ……
トイレは
ね……!!

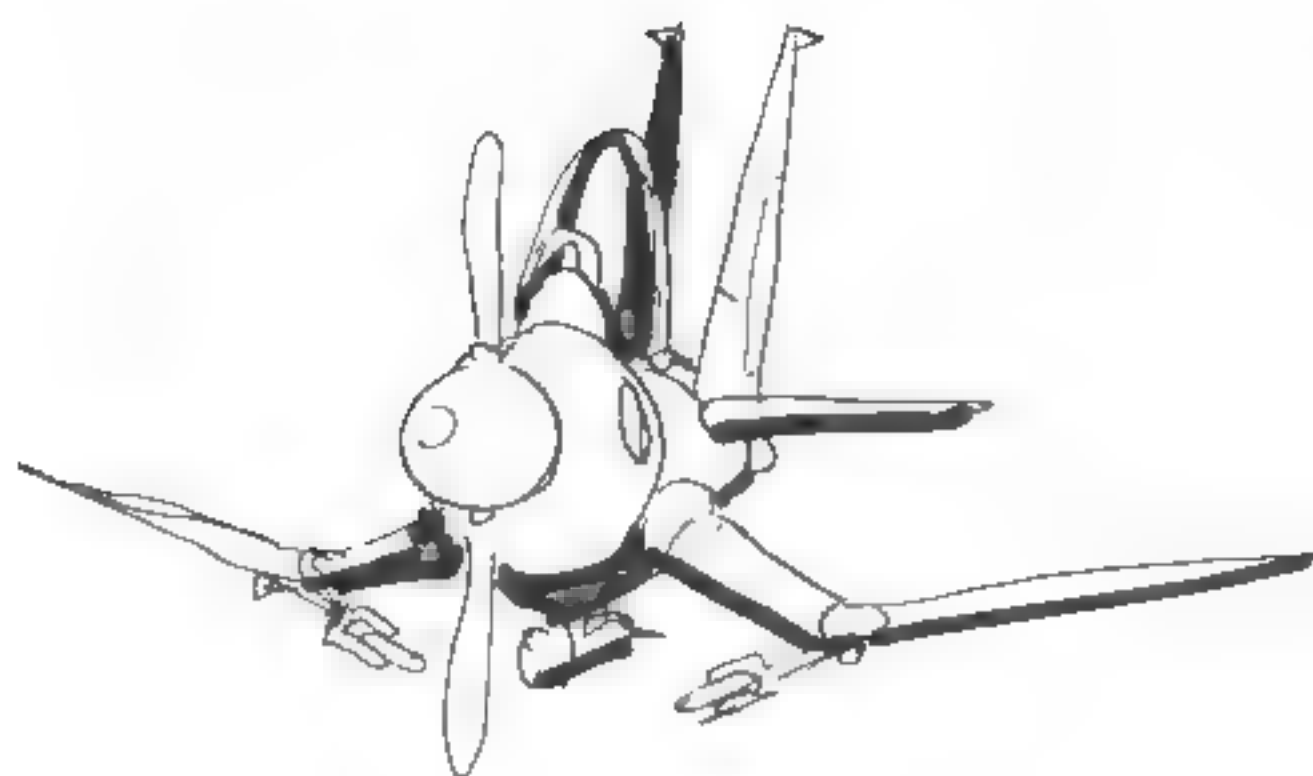
ここだよ ここーッ
気持ちいい～ うい～
あの酔っぱらいが行ったら上陸しよう
ナランチャ 亀はオレが持つ
そしてすぐに車を手に入れるんだ
高速を通らなくても45分あればローマ市内に入れる
ああ わかったぜ ちょうどいい時間だ
月も雲に隠れてる
ROMA MAP

くそ…… 今夜は 宴会でも あったのかッ！
あそこにも 酔っぱらいが 寝てるぞ
そこは 水飲み場 だって
だから わかんねー やつだなッ！
はなせー オレはここでやるっ たちやるんだ
来いよ 怒られるって
こっちに 来いよ
やめろォ 放せエー
放せったらよオー
ググググ
オレは やるって いったら……………
POST

ズルッ
ぜってエーやってやるぞオ──
だめだよォ──来いよ酔っぱらいめ──
ズルズル
!!!
うるせえぞォーオレはやってやるぞ!!
トイレはねエエエエ……ホレッ!!
ドド

ここだよ
ここッ！
思うぞんぶんしろッ！
おい
これじゃあ届かねえじゃねーかよオオズボンのチャック……遠すぎんだよ……
どおお やって開けりゃあいいんだよオオオオ取ってきてくれよオ

「本体」だ……捜せ……「本体」を！
巻き込みやがっている!!
無関係の村の人間も……
ナランチャ……捜すんだ……!!
徹底的にやる気だ無差別だ

待ち伏せ
されているぞ
敵だッ！
……

目的地はローマ！

コロッセオ

「ブチャラティ」どもの行く手を阻止し…始末するのは「チョコラータ」にやらせろ…だがしかし…」
必ず・おまえは・あの2人に追いつかなくてはならない！
「あの「2人」は……」
「そう…わたしはめったに警戒というものを感じたりはしないが…」
「とくにチョコラータは最低のゲスだ…たぶんローマ中をメチャクチャにして回るだろう…」
「最後はおまえが仕切らなくてはならない」
「トリッシュが知っている事やブチャラティどもがローマで探している何かが」
「あの「2人」に知られる事が絶対にあってはならない！」
……
「2人」はどんなヤツか……？
質問してもよろしいでしょうか？
「「チョコラータ」………」

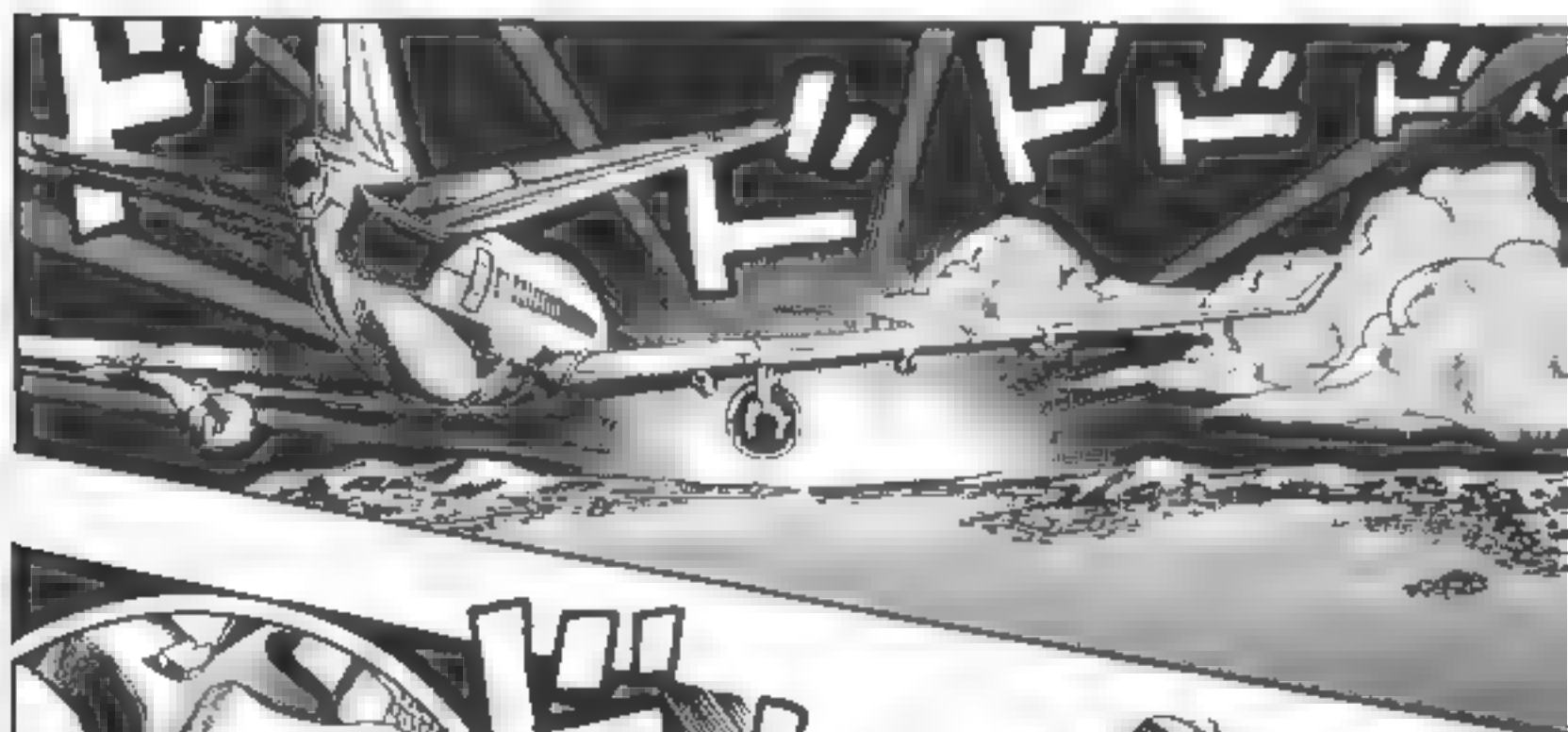
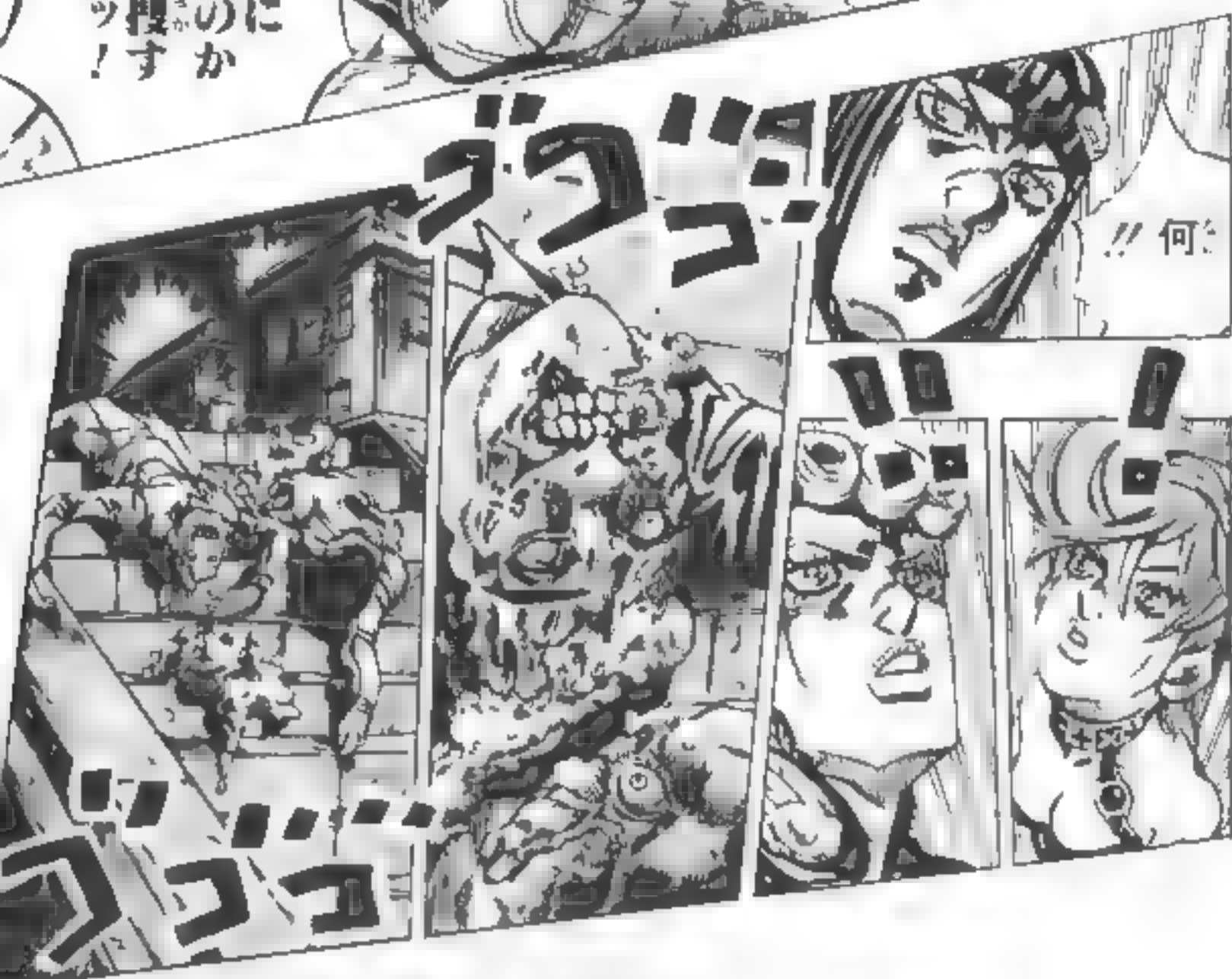
現在34歳
元医者だ
2年ほど前
ささいな治療ミスで
患者を死なせ
病院を解雇されたところを
「組織」がひろったのだが
「スタンド使い」
になった後で
ヤツの本性が
明らかになった
……
チョコラータは
治療ミスで
患者を死なせたのでは
ない…ワザと
殺していたのだ
ヤツにミスがあるというのなら
それはバレてしまった事だ
健康な人をワザと病気と診断し
手術を行なっているのも
明らかになったものだけで最低4件ある
麻酔を弱くして
手術中患者が
目覚めさせる事も
やっていた
なぜそんな事を
したのか？
チョコラータが
医者になったのは
病人を治療するため
ではなく 人の「死」や「痛み」を
観察できるからだ

何人死なせたかは不明だが
ヤツが人の死を観察する時
その好奇心は至上の幸福で
満たされている
ヤツはその時全ての人間の
優位に立っていると感じ…
人生の真理まで
理解できたと思っている
チョコラータの
少年時代を
調べさせた
成績はトップクラス
14歳の時ボランティアと
称して寝たきりの
老人の介護を
2年間手伝い
市から
表彰された事が
あるが
しかしその実は……
老人たちに
得体の知れない薬を飲ましてみるは
血圧に悪い食事を食べさせ続けるは
「誰も見舞いに来ない」などの
絶望的な言葉を耳元で
毎日毎日言い続け 自殺にまで
追い込んでいる……
自宅の本棚には
その時の老人の表情を
記録したビデオテープが
25本並んでいた…
9人自殺させたところで
医者になる事をめざしたようだ
セッコは何を
考えているか
わからない男だ
チョコラータの
元患者で
2人は気が合い…
セッコはチョコラータの
言う事しか聞かない

2人は怪物だ
本来は生かしておきたくはなかったのだが……
今回のような時のために わたしがチョコラータをおさえていたのだ
2人の「スタンド能力」は結局のところ…何者よりも頼りになるからな
とき放たれた2人は「暴走」する
……という事ですか？
「だから おまえが追いつくのだよドッピオ…」
「信用できるのは おまえだけだ……」
「いいな…おまえが一番なのだよ」
わかりました…ボス
ぼくも それが生きがいです

ドドドドド

ドドドド

何だよッ!
ミスタ
それはッ!
いつ・・・
つけられた・・・
んだッ!?
よく
わから
ねえ
本体を
捜せ
ナランチャ
どこに
いるのか
敵を捜す
んだッ!
!! 何

やばいぜ すでにやられているぜッ!! 一般のヤツが
村全体だ……
まだ生きているのもいる。すぐには死なねえみたいだが…
敵の射程は村全体におよんでいるぜ
こ…これじゃあ本体を探すのは
ちくしょう 見わけがつきにくいぜッ!
うぅああ

状況を説明しろッ…ミスタッ！
いきなり吹き出しやがった…!! くっつけられた瞬間は見えなかったッ…
カ…「カビ」みてえなものが
肉がグズグズになるものがッ オレの皮膚の下から出て来たように見える!!
すでにやられてる村人も同じ物が吹いて体が崩れているッ！
ど…どうなっちまったんだよオメエ
く…来るなッ！
そばに…よ…寄るなッ!!
開けてくれよォ ズボンのチャック……
持って来て開けてくれっ てばよオオオ
ゴ ゴ ゴ ゴ

小便させてくれよオオ
うあああああああ
オレに恐んねぇーでくれエエエエエエエエエエエエーッ
ドシャアア

来るなあああ
オレに近づかないでくれエエ

や…やばいよ…
ブチャラティ
ここでの上陸は
無理だ！

階段上の駐車場まで
とても行けねえ…
ここはボートでいったん
沖に脱出した方がいいぜ

上陸したら　その『何か』に
やられるのは確かだぜッ！
ジョルノッ
！

ドバッ
オレの体にイイイイイイイイイイイイイイイ
うおああああああああああああああ

きゃああああああ
これはッ!
戻るんだナランチャ
オレにつかまれ――――ッ!!
ど…どっから攻撃!してくるんだ……

ミスタ
手をのばしては
いけないッ！
このスタンドには
スイッチを押すように
攻撃のきっかけが
あるッ！
………
………
………
「攻撃のきっかけ」
………？
何だ
………
それは…

うおおおおあっ
「手を下に下げると攻撃が始まるぞ……
そういえば最初はブーツの中から銃を取ったあと手にわいて来た……
今の酔っぱらいは階段から下に飛び降りて攻撃された…
もうひとりは初めに階段から降りた
そしてナランチャはここからボートに
ウウアァアアアアアアアア——ッ

59今にも落ちて来そうな空の下での巻(完)

■ジャンプ・コミックス

ジョジョの奇妙な冒険

59今にも落ちて来そうな
空の下での巻

1998年8月9日 第1刷発行

著 者 荒木飛呂彦

編 集 ホーム社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
電話 東京 03(5211)2651

発行人 山下秀樹

発行所 株式会社 集英社
東京都千代田区一ツ橋2丁目5番10号
〒101-8050
03(3230)6233(編集)
電話 東京 03(3230)6191(販売)
03(3230)6076(制作)
Printed in Japan

印刷所 株式会社 美松堂
中央精版印刷株式会社

ISBN4-08-872588-3 C9979